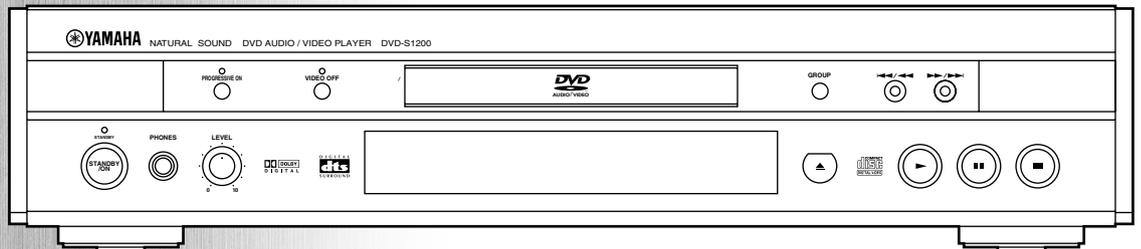
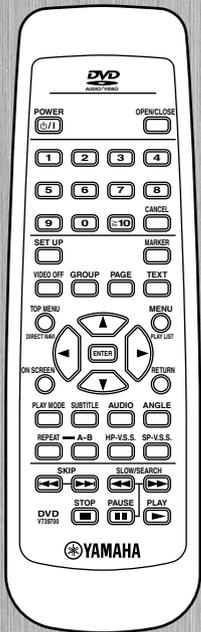




DVD AUDIO/VIDEO PLAYER DVD-S1200

DVD AUDIO/VIDEO プレーヤー 取扱説明書



DVD ビデオのリージョン番号について例)

DVD ビデオには、全世界の地域別にディスクとプレーヤーに割り当てられたリージョン番号があります。本機の番号は「2」です。

本機は、「2」(または「2」を含むもの)と「ALL」が表示されたディスクの再生が可能です。



など

ヤマハ DVD プレーヤー DVD-S1200 をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

本機の優れた性能を十分に発揮させると共に、永年支障なくお使いいただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。お読みになったあとは、保証書とともに保管してください。

保証書をご確認ください

保証書に販売店名、購入日などが記入されておりませんと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合に実費をいただくことがあります。

ご使用の前に必ずお読みください。

特長

高画質

54 MHz / 12 bit ビデオ D / A コンバーターを搭載し、プログレッシブ映像再生に対応（切り換え式）。ちらつきの少ない高密度なプログレッシブ映像を再現します。（P25 ページ）また、多彩な「画質調節機能」や「デジタルノイズリダクション機能」により、DVD の持つ繊細で高密度な映像を十分に再現し、楽しむことができます。

高音質

192 kHz / 24 bit オーディオ D / A コンバーターを搭載し、高音質記録された DVD オーディオに対応しています。映像信号の影響を遮断する「ビデオオフ機能」により、高音質を再現します。

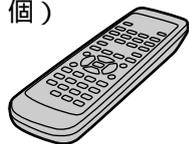
お部屋を映画館に

ドルビーデジタル / DTS デコーダーを内蔵していますので、AV アンプやスピーカーと組み合わせて本格的なホームシアターを楽しむことができます。

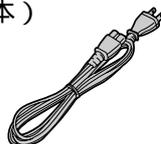
付属品のご確認

付属品がすべてそろっているか、確認してください。

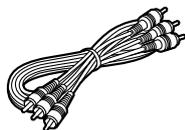
リモコン（1 個）



電源コード（1 本）



音声 / 映像コード（1 本）



リモコン用乾電池（2 本）



お願い

付属の電源コードは、本機専用です。本機には必ず付属の電源コードを使用してください。

もくじ

まず
準備

すぐ
使ってみる

もっと
使いこなす

もし
必要なとき

安全上のご注意	4
ディスクについて	6
リモコンの準備	7
他の機器と接続する	8

ディスクを再生する 12

再生を止める	13
静止（一時停止）する / 早送り・早戻しする / スロー再生する	14
コマ送り・コマ戻し / 静止画を選ぶ（ページスキップ） / 番組・場面・曲を飛びこす（スキップ）.....	15
番組・場面・曲を番号指定で再生する	16
グループを選んで再生する	17

いろいろな再生を楽しむ 18

全てのグループを順に再生する（オールグループ再生） / 好みの順に再生する（プログラム再生） / 順不同に再生する（ランダム再生）.....	19
好みの位置を記憶させる（マーカー）.....	20
繰り返し再生する（リピート再生） / 好みの場所を繰り返し再生する（A-B リピート再生）.....	21

RAM ディスクの番組を再生する 22

番組を選んで再生する（ダイレクトナビ再生）.....	22
好みのシーンだけを再生する（プレイリストメニュー再生）.....	23

映画や音楽を楽しむ 24

2本のスピーカーやヘッドホンでサラウンド効果を楽しむ（バーチャルサラウンド（V.S.S.））.....	24
音声を切り換える	25
字幕言語を切り換える.....	25
アングルを切り換える.....	25
より高音質で聴く（VIDEO OFF）.....	25

絵表示（GUI画面）を使って操作する 26

初期設定を変更する 30

設定方法	30
初期設定一覧表	31
視聴制限	33
テレビに合わせて設定する	34
スピーカー設定	35
デジタル出力の設定.....	36

著作権について 36

使用上のお願い・お手入れ 37

用語解説 38

お電話の前に一度ご確認を

Q & A（よくあるご質問）..... 40

故障かな!?! 41

各部のなまえとはたらき 44

主な仕様 46

ヤマハホットラインサービスネットワーク 47

準備

使いかた

ご参考

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)

	警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

電源コードについて

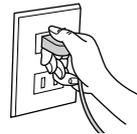
電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。



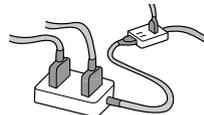
傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない



たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ご使用について

機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり濡らしたりしない



ショートや発熱により火災や感電の原因になります。
機器の上に液体の入った容器や金属物を置かないでください。
特にお子様にはご注意ください。

分解、改造をしない



分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
内部の点検や修理は、販売店へご相談ください。

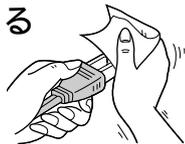
ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない



ぬれ手禁止

感電の原因になります。

電源プラグのほこり等は定期的にとる



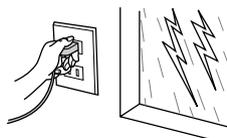
プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

雷について

雷が鳴ったら、機器や電源プラグに触れない



接触禁止



感電の恐れがあります。

もし異常が起こったら

異常があったときは電源プラグを抜く



電源プラグを抜く

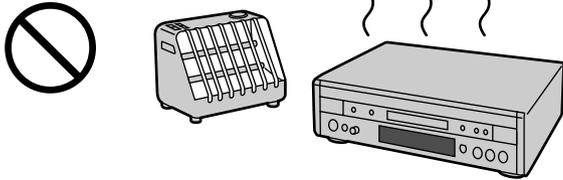
機器内部に金属や水、異物が入ったとき煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
販売店にご相談ください。

⚠ 注意

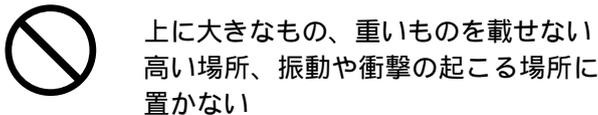
設置・接続について

異常に温度が高くなるところに置かない



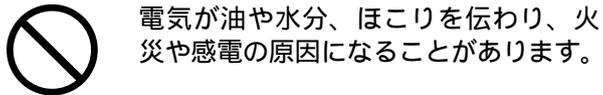
機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

不安定な場所に設置しない



機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

油煙や湯気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない



電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

ご使用について

コードを接続した状態で移動しない



接続した状態で移動させようとする、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

ディスクトレイに指を入れ、挟まれないように注意する



指に注意



閉まるときに挟まれて、けがの原因になることがあります。特にお子様にはご注意ください。

ヘッドホン使用時は音量を上げすぎない



耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

乾電池について

電池は正しく取り扱う



⊕と⊖は正しく入れる
長期間使わないときは、取り出しておく

電池は誤った使いかたをしない



新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使用しない
乾電池は充電しない
加熱、分解したり、水、火の中へ入れたりしない
ネックレスなどの金属物といっしょにしない
被覆のはがれた電池は使用しない
乾電池の代用として充電式電池は使用しない

取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。
万一液もれが起こったら、販売店にご相談ください。
液が身体に付いたときは、水でよく洗い流してください。

ディスクについて

再生できるディスク

名称	ロゴマーク	映像方式	本書内マーク
DVD-RAM (4.7GB)		NTSC	RAM
DVD オーディオ		NTSC (PAL は音声のみ)	DVD-A
DVD ビデオ		NTSC	DVD-V
ビデオ CD		NTSC	VCD
音楽 CD			CD

DVD ビデオディスク

発売地域ごとに割り当てられたリージョン番号が付与されています。

本機のリージョン番号は「2」です。

「2」(または「2」を含むもの)もしくは、「ALL」が表示された DVD ビデオが再生できます。



など

CD-R/CD-RW ディスク

本機は、CD-DA フォーマットまたは、ビデオ CD フォーマットで記録され、録音終了時にファイナライズされた音楽用 CD-R と CD-RW 再生に対応しています。ただし、記録状態によって再生できない場合があります。

音楽用 CD-R/CD-RW の再生対応機器で再生できるように処理すること。

お知らせ

DVD オーディオ、DVD ビデオ、ビデオ CD の中には、ソフト制作者の意図により、本書の説明どおりに動作しないディスクがあります。ディスクのジャケットなどもご覧ください。

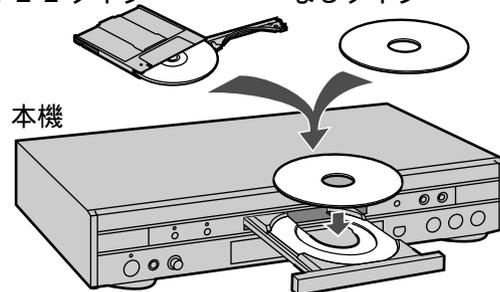
DVD-RAM ディスク

いろいろな種類がありますが、本機では以下の条件に合ったディスクが再生できます。ただし、記録状態によって再生できない場合があります。

タイプ	カートリッジなし カートリッジ付でディスク取出しが可能なもの (TYPE 2)
容量	4.7GB (12 cm) と 2.8GB (8 cm)
記録媒体	DVD ビデオレコーダー、DVD ビデオカメラ、パソコンなどビデオレコーディング規格 Ver.1.1 (ビデオ録画のための統一規格) で記録されたディスク

4.7GB
TYPE 2 タイプ

4.7GB カートリッジ
なしタイプ



お願い

TYPE 2 のディスクを再生するときは、必ずディスクをカートリッジから取り出してください (ディスクの取り出し方などの詳細は、ディスクに付属の説明書などをご覧ください)。取り出したディスクに傷、汚れを付けないください。

使用後は、カートリッジに収納することをおすすめします。なお、収納時には、カートリッジの印刷面とディスクの印刷面を同じ側にしてください。

お知らせ

番組と番組のつなぎ目部分など、なめらかに再生できない場合があります。

再生できないディスク

リージョン番号「2」「ALL」以外の DVD ビデオ
PAL 方式で記録されたディスク

(DVD オーディオの音声部分は再生できます。)

DVD-RAM (2.6GB、TYPE1)

DVD-ROM

DVD-RW

CD-G

SACD

DVD-R

CD-ROM

CVD

フォト CD

+ RW

CDV

SVCD

など

お願い

ハート型など、特殊形状のディスクはご使用にならないください。(機器の故障の原因となります。)



記録された状態によって再生できるディスクがあります。

リモコンの準備

ジャケット上のマークについて
(以下は一例です)

音声数
2)

字幕数
2

アングル数
3

(数字は収録されている音声 / 字幕 / アングルの数を示します。)

記録されている音声の種類

本機はドルビーデジタル / DTS
デコーダーを内蔵しているため右記ロゴ
のついたディスクの再生が可能です。



画面サイズ (横 : 縦)

4:3 4 : 3 の
標準サイズ

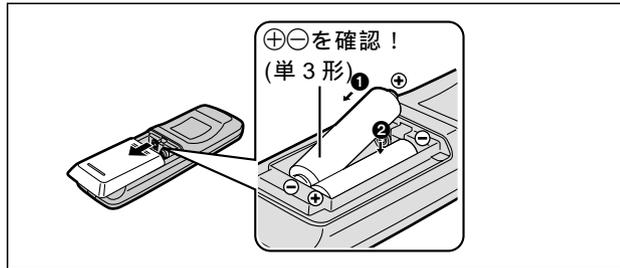
LB レターボックス
(4 : 3 で上下に黒帯
が入っている画面)

16:9 LB 16 : 9 のワイドサイズ
標準サイズのテレビではレターボックスで
再生される。

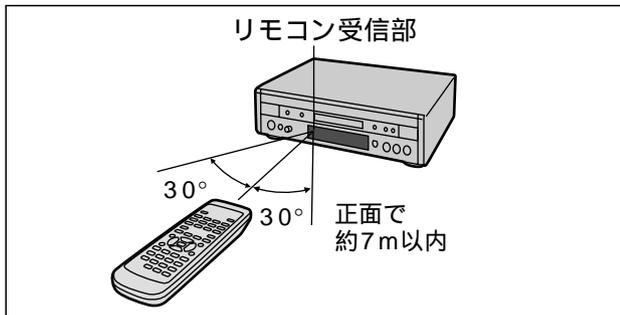
16:9 PS 16 : 9 のワイドサイズ
標準サイズのテレビではパン & スキャン (両
側または片側が切れた画面) で再生される。

映像の見え方は、テレビ側の設定によっても異なります。

乾電池 (付属) を入れる



リモコンの使用範囲



お願い

- 受信部とリモコンの間に障害物を置かない。
- 受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てない。
- 他の機器のリモコンと同時に使わない。
- 受信部とリモコン先端のほこりに注意する。

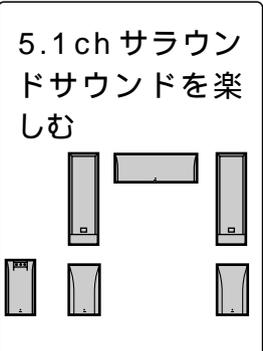
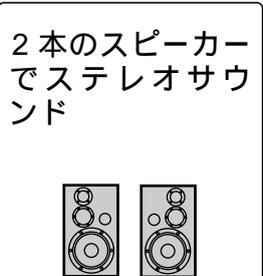
本体をラックに入れて使用するとき

ラックのガラス扉の厚さや色などによって、リモコンの使用範囲が短くなる場合があります。

準備

他の機器と接続する

本機はドルビーデジタル / DTS デコーダーを内蔵しているため (㊦ 38、39 ページ)、AV アンプの 6ch INPUT (音声入力端子) に接続 **B** (㊦ 下記参照) してもドルビーデジタル / DTS で記憶された音声を再生できませんが、AV アンプ独自の音場効果を使い、映画館やホールのような臨場感と迫力ある音を楽しむには、必ずデジタル接続 **A** (㊦ 下記参照) をしてください。また、DVD オーディオで、高音質 (サンプル周波数 192kHz や 96kHz) やマルチチャンネル再生を楽しみたいときはアナログ接続 **B** (㊦ 下記参照) をしてください。著作権保護されたディスクの場合、本機のデジタル出力端子からは、48kHz に変換しないと音声が出ません。

こんなときは	こんな方法があります	参照 ページ	設定内容	参照 ページ
5.1ch サラウンドサウンドを楽しむ 	< デジタル接続 > AV アンプと接続する	9 A	デジタル出力、PCM ダウンサンプリング変換 / Dolby Digital / DTS Digital Surround 接続する機器に合わせて設定 スピーカーの設定は、AV アンプまたはデコーダーで行ってください。	36 -
	< アナログ接続 > AV アンプ (5.1ch 音声入力端子付) と接続する	10 B	“スピーカー設定” “マルチチャンネル” に設定	35
2本のスピーカーでステレオサウンド 	< デジタル接続 > デジタルアンプやミニコンポと接続する	10 C	デジタル出力、PCM ダウンサンプリング変換 接続する機器に合わせて設定 Dolby Digital、DTS Digital Surround “PCM” に設定	36
	< アナログ接続 > アナログアンプやミニコンポと接続する	10 D	お知らせ 機器との接続は一例です。 接続の前に、接続する機器と本機の電源を切り、それぞれの機器の説明書もご覧ください。	

ドルビープロロジック (㊦ 39 ページ) のサラウンド効果を楽しむには **C**、または **D** の接続機器の例に加えて、センター、リアのスピーカーが別途必要となります。接続した機器の説明書をご覧ください。また、この場合スピーカー V.S.S. / ヘッドホン V.S.S. (㊦ 24 ページ) は「切」にしてください。「1」(標準)、「2」(強) に設定するとサラウンド効果が正しく動きません。

こんなこともできます ~ MD やカセットテープに録音する ~

< アナログ録音する >
 アナログ信号に変換された音声を、著作権保護の影響を受けずにカセットテープや MD に録音できます。

音声コードを使って、本機を録音機器とアナログ接続する。(上記 **D** の接続)

< デジタル録音する >
 デジタル信号のまま MD などに録音できます。ただし全ての信号がリニア PCM 48 kHz / 16 bit 以下に変換されます。また、DVD の場合、以下の条件が必要です。
 ディスクに著作権保護の処理がされていない。
 録音側の機器がサンプリング周波数 48 kHz / 16 bit に対応している。

- 1 光デジタルケーブルまたはオーディオ用同軸ケーブルを使って、本機を録音機器とデジタル接続する。
- 2 DVD の場合、以下の設定をする。
 パーチャルサラウンド [V.S.S.] : 切 (㊦ 24 ページ)
 PCM ダウンサンプリング変換 : する (㊦ 31 ページ)
 Dolby Digital / DTS Digital Surround : PCM (㊦ 31 ページ)
 デジタル出力 : 入 (㊦ 31 ページ)

お願い

DVD プレーヤーは、デジタル信号のサンプリング周波数やフォーマットを、ディスクに応じて自動的に切り替えて、出力しますので、デジタル録音時には以下のことにご注意ください。
 CD を入れた直後に、MD のシンクロ録音機能を使って録音すると、誤動作や曲の頭切れになることがあります。表示窓の READING 表示が消えるのを確認してから、MD のシンクロ機能をセットしてください。
 DVD ディスクには、1 枚の中に複数の音声フォーマットが収録されているものがあります。このようなディスクを録音する際、接続されている機器によっては、チャプターがかわるときなどに音声が一瞬途切れ、頭切れになることがあります。この場合は、デジタル出力を使用せず、本機のアナログ出力をご使用ください。

A AV アンプとのデジタル接続

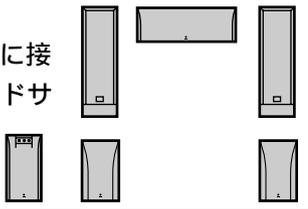
準備

電源コードは抜いてください。(電源コードは最後に接続します。)

接続する機器の取扱説明書もご参照ください。

スピーカー

6本のスピーカーに接続するとサラウンドサウンドをお楽しみいただけます。

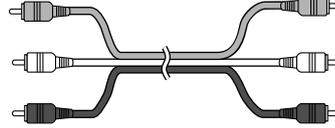


音声/映像コード(付属)

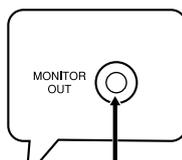
黄(映像)

白(左/L)

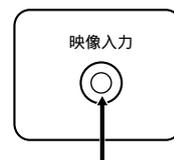
赤(右/R)



映像出力端子



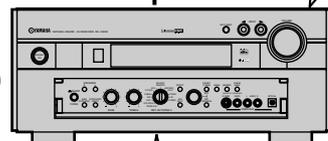
映像入力端子



テレビ

映像コード

AV アンプ(別売)



光デジタル音声入力(OPTICAL)端子

光

OPTICAL

DVD



DVD 同軸

COAXIAL

DIGITAL INPUT



デジタル音声入力(COAXIAL)端子

VIDEO

映像入力端子

映像入力端子

(黄) (白) (赤)

光デジタルケーブルケーブルを急な角度で折り曲げないでください。

オーディオ用同軸ケーブル

電源コンセントへ(AC 100 V、50/60 Hz)

電源コード(付属)

<光デジタルケーブルの接続>

キャップを外す



防塵キャップ

差し込む

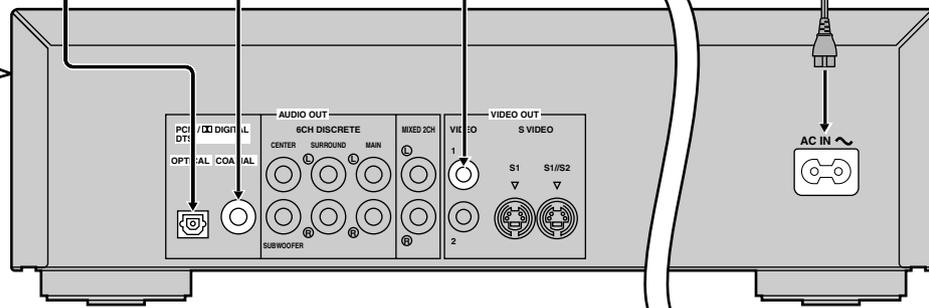


形状を合わせる

使わない時はほこりが付かないよう、キャップを付けておいてください。

音声/映像コード(付属)

本機後面



接続後、以下のように設定してください。(P.31 ページ)

PCM ダウンサンプリング変換

“する”に設定(96kHz デジタル信号対応アンプのとき)

“しない”に設定(96kHz デジタル信号未対応アンプのとき)

Dolby Digital/DTS Digital Surround 接続する機器に合わせて設定

デジタル出力 “入”に設定

お知らせ

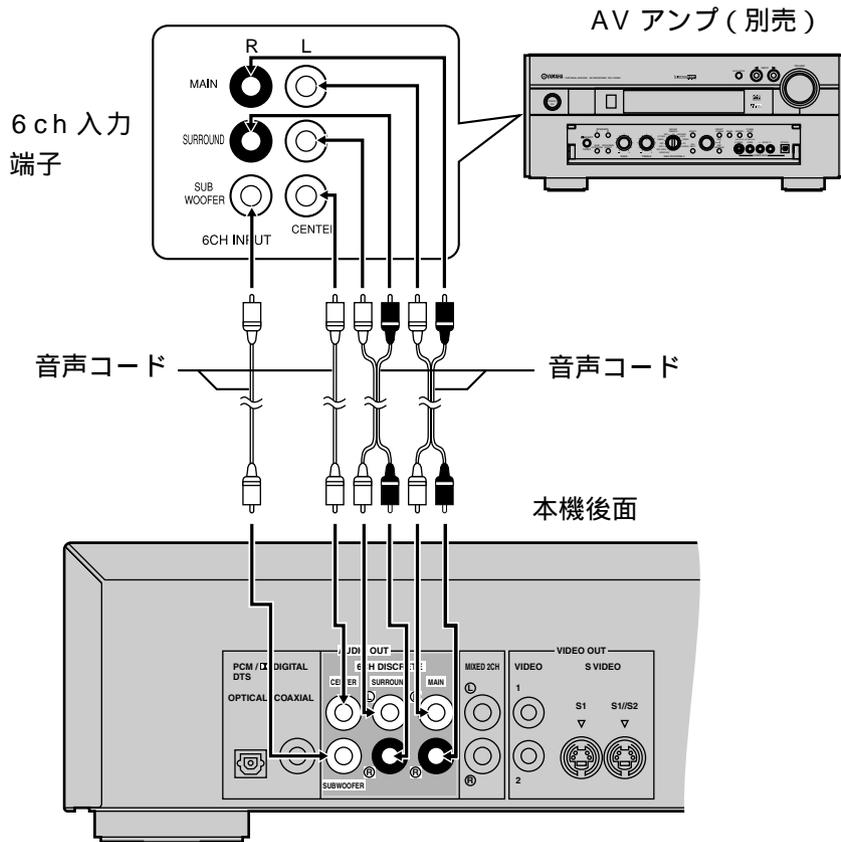
DVD ビデオに対応していないDTSデコーダーは使用できません。

サブウーファーを接続しない場合は、フロントに100 Hz以下の低音を再生できるスピーカーを接続することをおすすめします。

準備

他の機器と接続する（つづき）

B 5.1ch 音声入力端子付 AV アンプとのアナログ接続



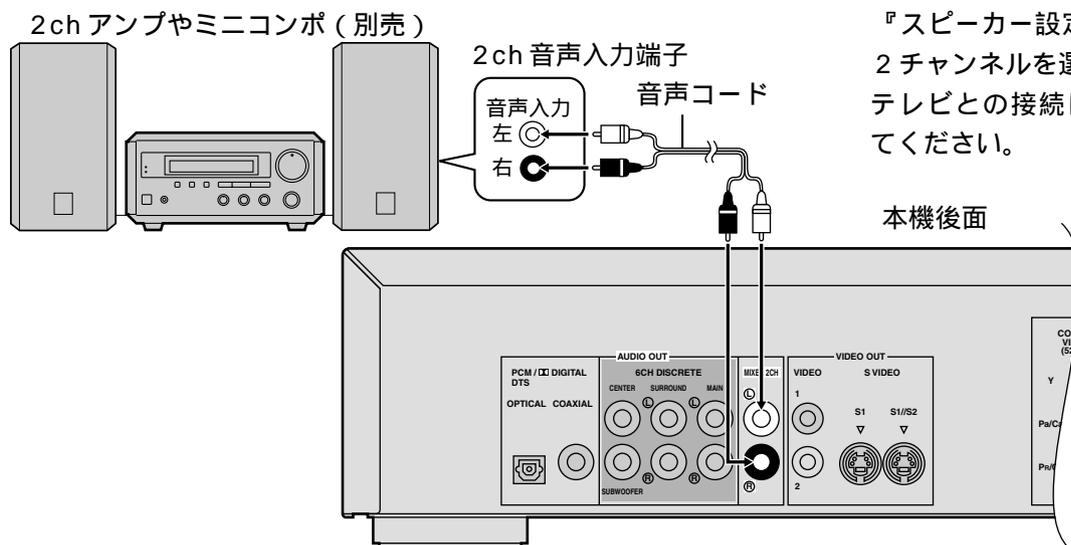
AV アンプ側でアナログ入力に切り換えてください。
 スピーカーとの接続は 9 ページ、テレビとの接続は 11 ページを参照してください。
 アンプやデコーダーの設定に合わせて『スピーカー設定』（[P.35](#) ページ）をしてください。

スピーカー V.S.S. / ヘッドホン V.S.S. は「切」にしてください。「1」（標準）、「2」（強）に設定すると、メイン（L/R）以外のスピーカーから音が出ません。（[P.24](#) ページ）

C デコーダーを内蔵していないデジタルオーディオ機器との接続

- A** ([P.9](#) ページ) と同じ接続をして、音声を楽しめます。以下の設定をしてください。（[P.31](#) ページ）
- デジタル出力 “入”
 - PCM ダウンサンプリング変換 “する”
 - Dolby Digital/DTS Digital Surround “PCM”

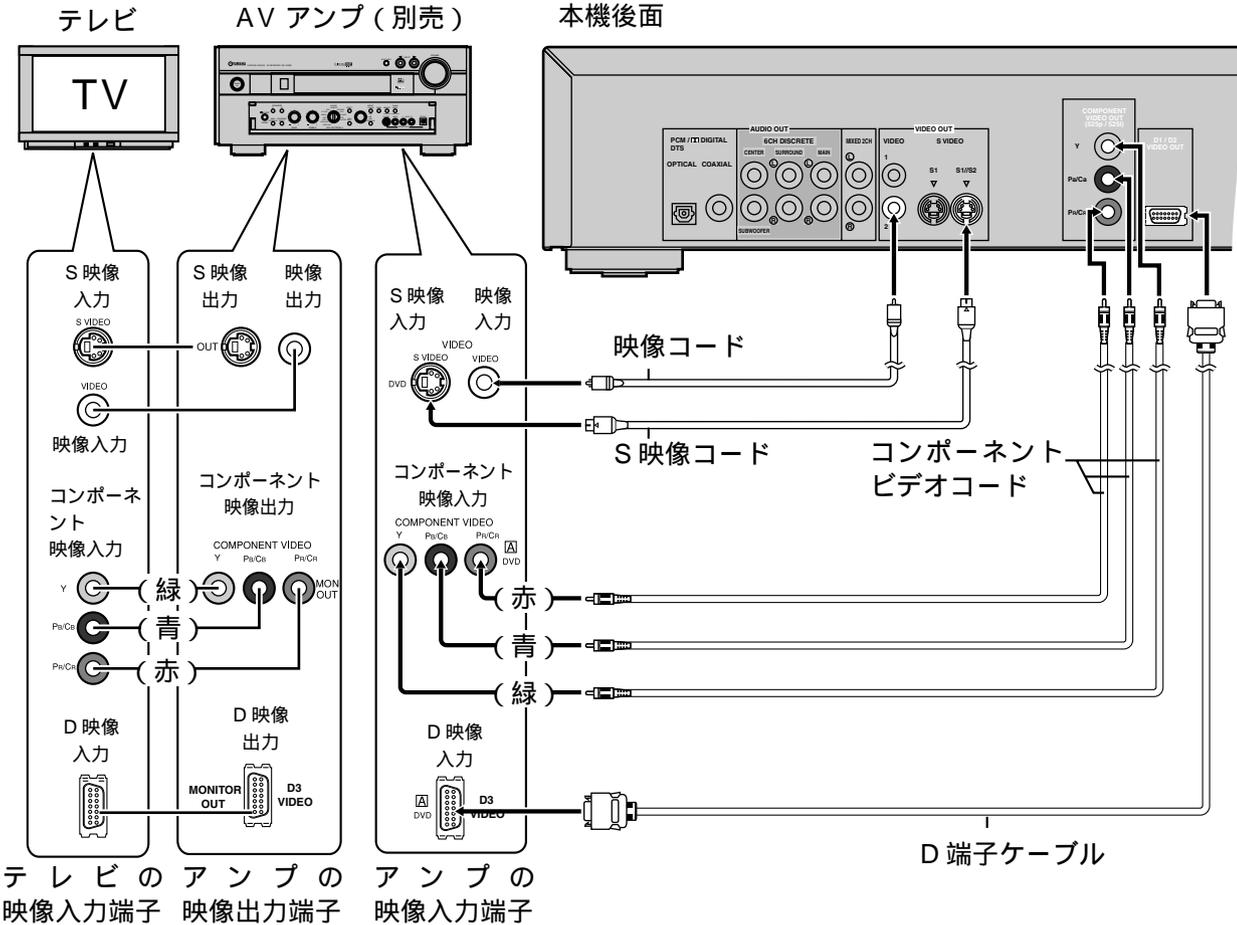
D 2ch アンプやミニコンポとのアナログ接続



『スピーカー設定』（[P.35](#) ページ）で 2 チャンネルを選んでください。
 テレビとの接続は 11 ページを参照してください。

映像入力端子との接続

下記の映像入力端子を持つテレビにいずれかの接続をしてください。
音声の接続は、9、10ページを参照してください。



テレビの映像入力端子
アンプの映像出力端子
アンプの映像入力端子

コンポーネント映像出力端子および D1 / D2 映像出力端子：プログレッシブ映像出力に対応。本機のコピーガードシステムに適した 525p 映像入力端子付テレビに接続すると、プログレッシブ映像が楽しめます。（プログレッシブ出力への切り換え ㊦12、38 ページ）

S1、S1/S2 映像出力端子：詳細 ㊦38 ページ

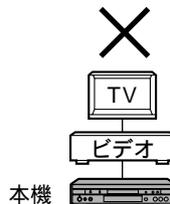
映像コード、S 映像コード、コンポーネントビデオコード、D 端子ケーブルは、それぞれテレビの映像入力端子、S 映像入力端子、コンポーネントビデオ入力端子、D 映像入力端子に直接つなぐことができます。すべての端子がテレビに付いている場合は「Q & A」（㊦40 ページ）もご参照ください。

テレビに接続するときは、以下の端子には接続しないでください。接続すると、画面が乱れたり映らないことがあります。

DVD に対応していないハイビジョン方式専用のコンポーネントビデオ入力端子
本機のコピーガードシステムに対応していない 525p 映像入力端子

お願い

本機の映像出力をビデオテープレコーダーなどに接続しないでください。テレビと本機の間にはビデオテープレコーダーなどを接続すると、著作権保護の影響により、再生時に画面が乱れることがあります。



準備

ディスクを再生する

1



押して

電源を入れる

プログレッシブ出力で再生するには本体の[PROGRESSIVE ON]ボタンを押してランプを点灯させる



2



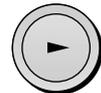
押して

トレイを開け、ディスクをおく

TYPE 2のDVD-RAMディスクを再生するときは、ディスクをカートリッジから取り出してください。(P.6 ページ)

ラベルを上にする(両面ディスクでは再生したい側のラベルを上にする)

3



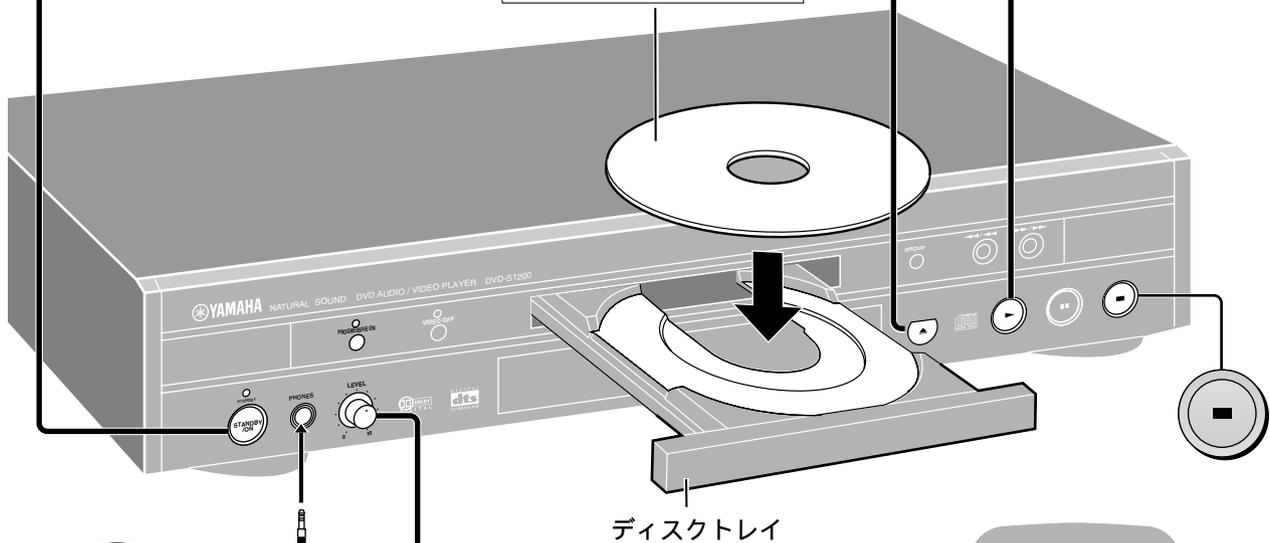
押す

トレイが閉まり、再生が始まります。

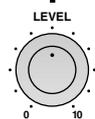
表示窓(例: DVDビデオの場合)



点灯 | チAPTER番号 | 再生経過時間
タイトル番号



ヘッドホン



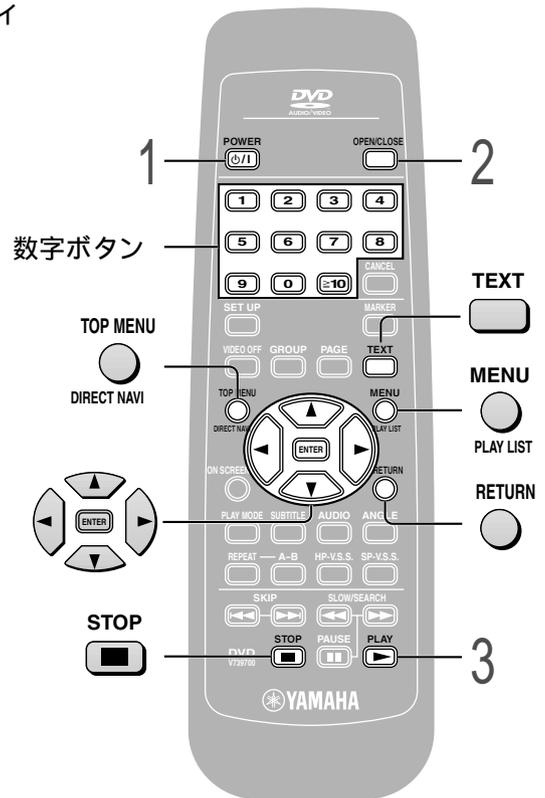
LEVEL

- ヘッドホンで聴くには
- 1 [LEVEL]を“0”の位置まで回し、ヘッドホンを接続する
 - 2 [LEVEL]を回して音量を調節する

お願い

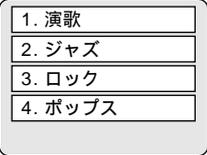
耳を刺激するような大きな音量で長時間聴くことは避けてください。

カーソルボタン
[▲、▼、◀、▶]/
[ENTER]



メニュー画面を表示したときは

DVD-A DVD-V VCD

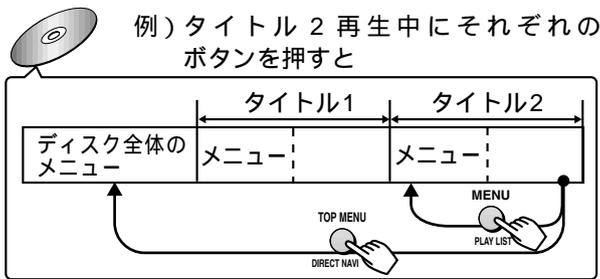
例)  数字ボタンを押して項目を選ぶ
2ケタの数字を入力するには
例) 23 を入力する
[≥10] を押し、[2][3] と続けて押す

DVD の場合、カーソルボタン [▲、▼、◀、▶] で項目を選び、[ENTER] を押しても選べます。

メニュー画面に戻すには **リモコン**

DVD-A	DVD-V	DVD-V	VCD
再生中	再生中	再生中	再生中
押す TOP MENU 	押す MENU 	押す RETURN 	

< 複数のメニューを持つ DVD ビデオの場合 >
[TOP MENU] を押してもメニュー画面に戻すことができますが、[MENU] を押した場合とは異なるメニューが表示される場合があります。



ディスクに記録されたテキスト情報を表示するには **DVD-A** **DVD-V** **CD**

ディスクにテキスト情報が記録されている場合、ディスクタイトル、アーティスト名、曲名などが画面に表示されます。

リモコン

押す **TEXT** 

押すたびに表示・非表示が切り替わります。
(表示窓には、テキスト情報の一部がスクロールします。)

ディスクによっては、テキスト情報が表示できない場合があります。

節電のために

停止状態で約 30 分経過すると、自動的に電源が切れます (オートスタンバイ)。ただし、電源が切れた状態でも、約 1.5 W の電力を消費しています。長期間使用しないときは、節電のため電源プラグをコンセントから抜くことをおすすめします。

再生を止める

再生中

リモコン  押す **STOP**

または **本体**  押す

 表示窓に “▷” が点滅しているときは、止めた位置が記憶されています。(続き再生メモリー機能)

“▷” 点滅中 [▶] (再生) を押すと、止めた位置から再生が始まります。

DVD ビデオの場合
さらに右の画面を表示

再生ボタンを押すと、
あらすじリプレイになります。

表示中に [▶] (再生) を押すと、再生を止めた位置までの各チャプターの冒頭を数秒再生した後、止めた位置から再生が始まります。(あらすじリプレイ：同一タイトル内でのみ働きます。)

[▶] (再生) を押さずに放置しておくとも画面が消え、止めた位置から再生が始まります。

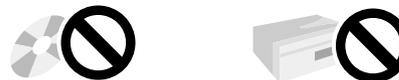
続き再生メモリー機能を解除するには
表示窓の “▷” が消えるまで [■] を押す

お知らせ

- あらすじリプレイができないディスクもあります。続き再生メモリー機能は
- 電源を切っても働いています。[プレイリスト (23 ページ) 再生中は、電源を切ると解除されます。]
 - ディスクトレイを開けると解除されます。
 - 再生中、表示窓に経過時間が表示されないときは働きません。

“⊘” がテレビ画面に表示されたときはその操作はできません。

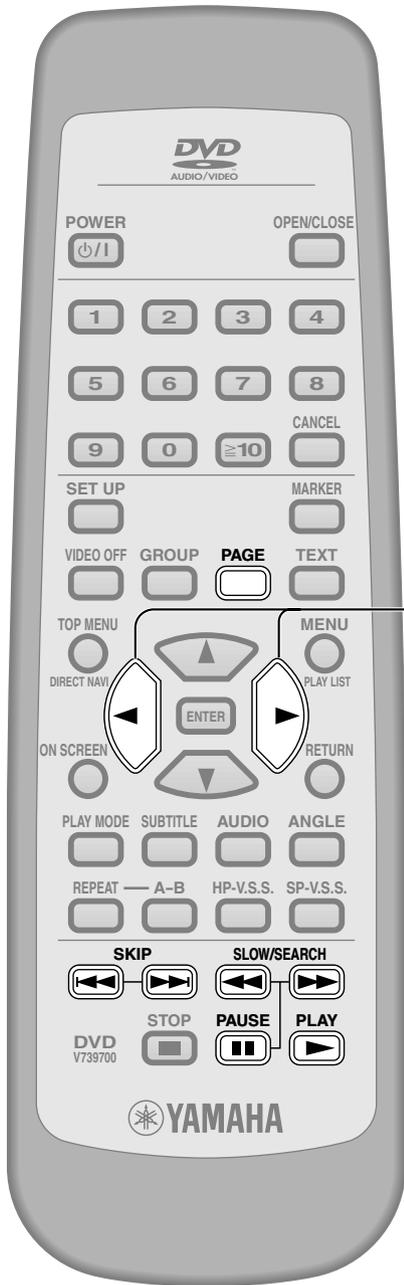
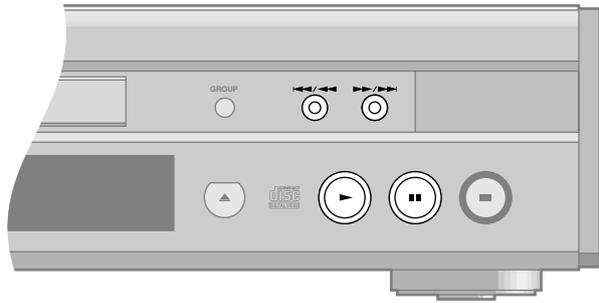
ディスク側で禁止 本機側で禁止



お願い

メニュー画面の表示中は、ディスクが回っていません。本機のモーターの保護と、テレビ画面への画像の焼き付きなどを防止するため、続けて再生しないときは [■] を押して、再生を止めてください。DVD 再生時は、テレビ放送に比べて音量が小さく感じられます。再生したときにテレビや AV アンプの音量を上げた場合は、テレビ放送に切り換える前に必ず元の音量に戻してください。突然大きな音が出る場合があります。

ディスクを再生する（つづき）

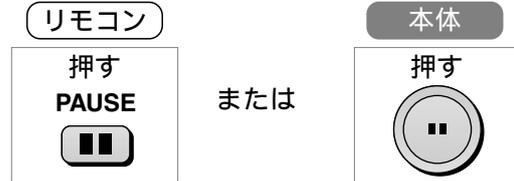


カーソルボタン
[◀, ▶]

静止（一時停止）する

RAM DVD-A DVD-V VCD CD

再生中



[▶]（再生）を押すと、通常再生に戻ります。

早送り・早戻しする

RAM DVD-A DVD-V VCD CD

再生中



[◀◀][◀◀/◀◀]：戻る

[▶▶][▶▶/▶▶]：進む

[▶]（再生）を押すと、通常再生に戻ります。

リモコンでは押すたびに、本体では押し続けると速くなります。（5段階）

DVD-RAM/DVD オーディオ（動画部）、DVD ビデオ、ビデオ CD は早送り 1 速時のみ音声聞こえます。音声を消すこともできます。（「早送り時の音声」P31 ページ）

スロー再生する

RAM DVD-A DVD-V VCD

静止（一時停止）中



[◀◀][◀◀/◀◀]：戻る（RAM DVD-A DVD-V）

[▶▶][▶▶/▶▶]：進む

[▶]（再生）を押すと、通常再生になります。

リモコンでは押すたびに、本体では押し続けると速くなります。（5段階）

DVD オーディオでは、動画部でのみスロー再生ができます。

早送り/早戻し、スロー再生、スキップについて PBC 付ビデオ CD のメニュー再生中は、[◀◀、▶▶] [◀◀/◀◀、▶▶/▶▶] や [◀◀、▶▶] を押すと、メニュー画面に戻ることがあります。

コマ送り・コマ戻し

RAM DVD-A DVD-V VCD

静止(一時停止)中

リモコン

カーソルボタン[◀、▶]を押す

[◀]: 戻る (RAM DVD-A DVD-V)

[▶]: 進む

[▶](再生)を押すと、通常再生になります。押すたびに1コマずつ送り(戻し)、押し続けると、連続してコマ送り(戻し)します。[■]を押してもコマ送りできます。DVDオーディオでは、動画部でのみコマ送り・コマ戻しできます。

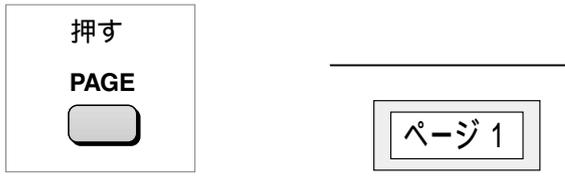
静止画を選ぶ(ページスキップ)

DVD-A

静止画付きのDVDオーディオでは、お好みの画像を選ぶことができます。

再生中

リモコン



押すたびにページが切り換わります。

番組・場面・曲を飛びこす(スキップ)

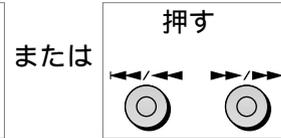
RAM DVD-A DVD-V VCD CD

再生中/静止(一時停止)中

リモコン



本体



[◀◀][◀◀/◀◀]: 戻る

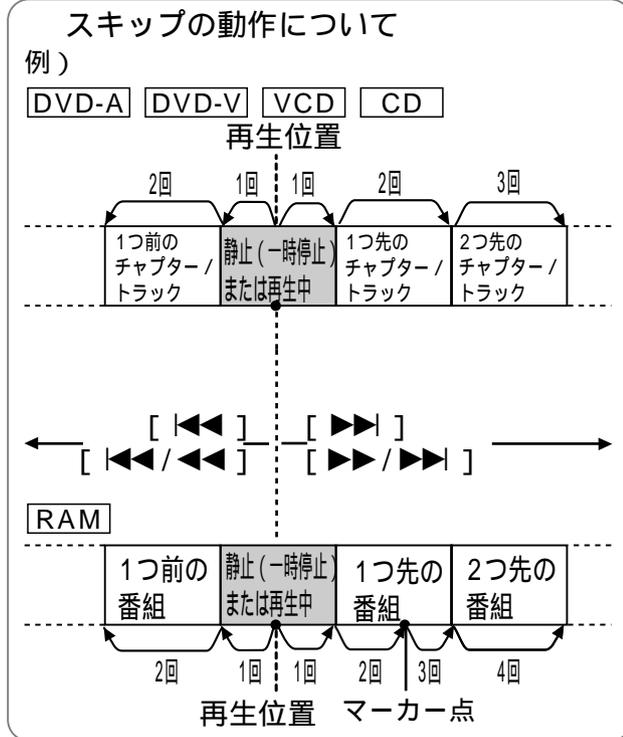
[▶▶][▶▶/▶▶]: 進む

押した回数だけスキップします。

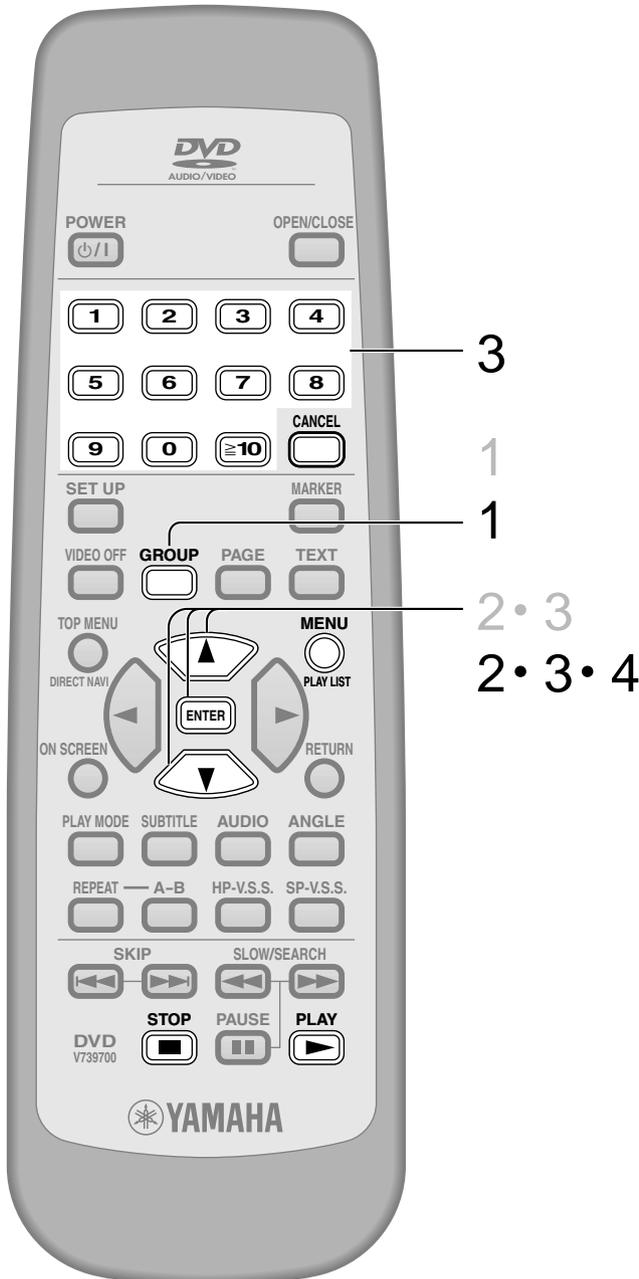
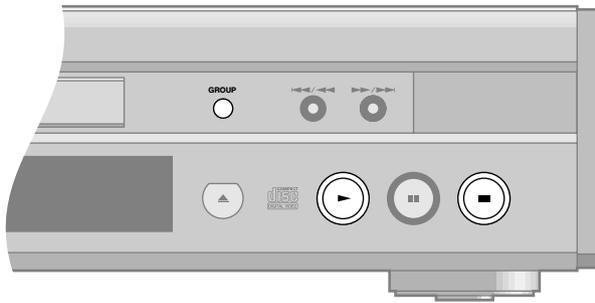
お知らせ

RAM

マーカーが記録されている場合は、マーカー位置へスキップします。プレイリストを使って再生している場合、シーンの開始点までスキップします。



ディスクを再生する（つづき）



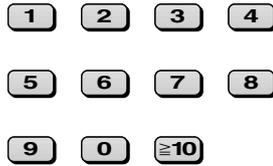
番組・場面・曲を番号指定で再生する

RAM DVD-A DVD-V VCD CD

停止中

リモコン

押す



選んだ番組（DVD-RAM）/タイトル/トラックから再生が始まります。（PBC付ビデオCDの場合 下記）

2ケタの数字を入力するには

例) 23 を入力する

[≥10] を押し、[2][3] と続けて押す

DVD オーディオの場合、別グループのトラックを選ぶときは、まずグループ番号を指定してください。（次ページ）

DVD-RAM、DVD オーディオ、カラオケ DVD、ビデオ CD、CD の場合は再生中でも働きます。

ディスクや再生状態によって働かないことがあります。

PBC 付ビデオ CD の場合

メニュー再生を解除してから操作してください。

1 再生中、表示窓の“ PBC Play ”が消えるまで[■]を押す

2 数字ボタンを押す

メニュー再生に戻すには、[■]を押したあと [MENU] を押してください。

表示窓に“ PBC Play ” が点灯します。

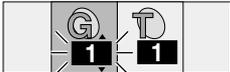
グループを選んで再生する

DVD-A

グループについて

DVD オーディオディスクの曲構成はグループ単位で分かれています。

各グループがどのように再生されるかはディスクによって異なりますので、ディスクのジャケットなどをご参照ください。

- 1 リモコンの
[GROUP]を押す 
- 2 カーソルボタン[▲、▼]で
グループ番号を選び、[ENTER]を押す
- 3 カーソルボタン[▲、▼]で
トラック番号を選び、[ENTER]を押す
選んだグループのトラックが再生されます。

グループ番号はリモコンの数字ボタンや本体の [GROUP]でも選ぶことができます。
[▶](再生)を押すと、選んだグループの再生が始まります。

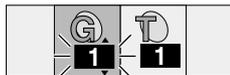
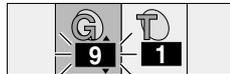
お知らせ

再生状態によっては、グループが選べないこともあります。

オールグループを再生するには
1つのグループだけではディスク内の全曲が再生できないようなディスクの場合に行います。(P.19ページ)

ボーナスグループを再生する

ディスクによっては、暗証番号を入力することで再生が可能になる「ボーナスグループ」を収録したものがああります。ディスクのジャケットなどもご参照ください。

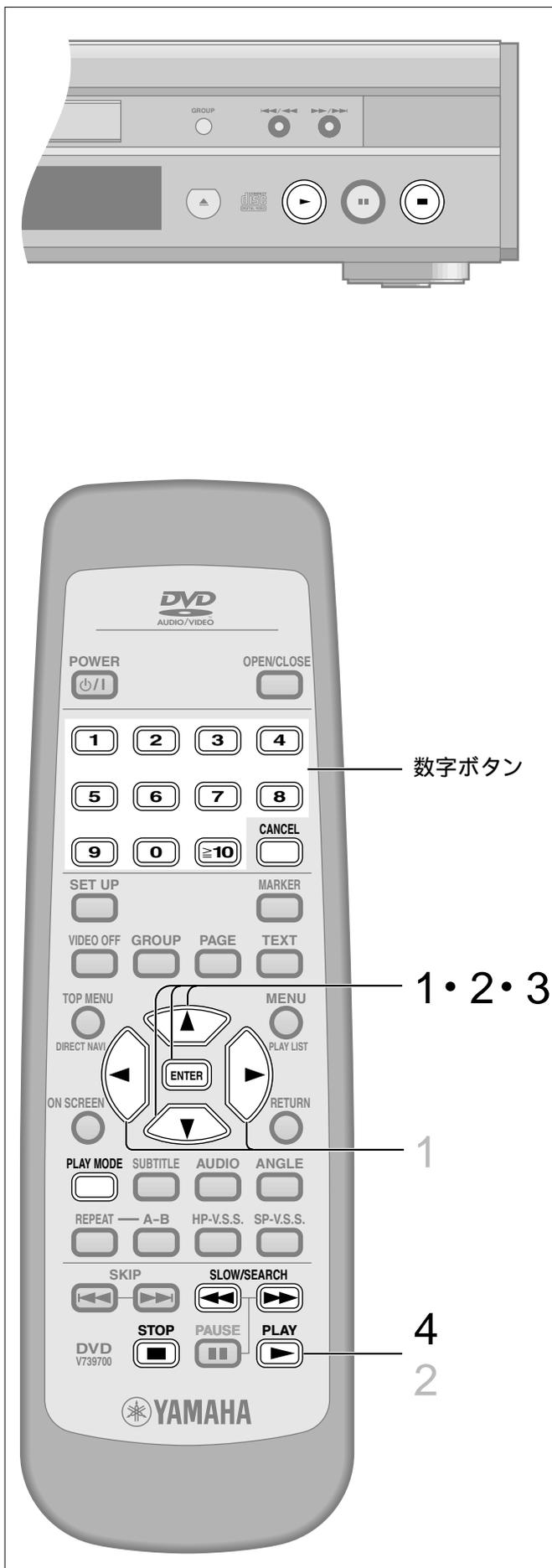
- 1 停止中、リモコンの
[GROUP]を押す 
- 2 カーソルボタン[▲、▼]で
ボーナスグループを選び、
[ENTER]または[▶](再生)を押す
例) ボーナグループが
グループ9に入っているとき 
- 3 リモコンの数字ボタンで
暗証番号(4ケタ)を入力し、
[ENTER]を押す 
- 4 カーソルボタン[▲、▼]で
トラックを選び、[ENTER]を押す

メニュー画面で暗証番号を入力する場合があります。そのときは画面の指示に従ってください。
いったん暗証番号を入力すると、ディスクを取り出すまで何度も再生できます。

お知らせ

暗証番号を間違えて入力した場合は、元の画面に戻ります。もう一度最初から行ってください。
入力中に暗証番号を間違えた場合は、リモコンの [CANCEL] を押してください。

いろいろな再生を楽しむ



停止中

リモコン

PLAY MODE

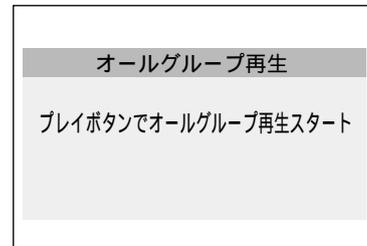
押して

再生の種類を切り換える

ボタンを押すたびに切り換わります。

例) DVD オーディオの場合

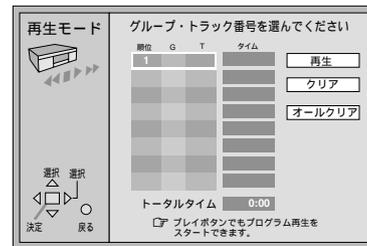
A オールグループ画面：



全てのグループを順に再生する



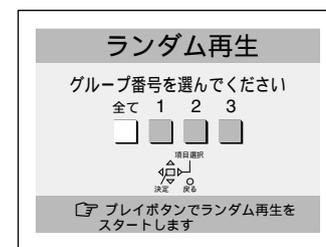
B プログラム画面：



好みの順に再生する
(最大 32 トラック)



C ランダム画面：



順不同に再生する



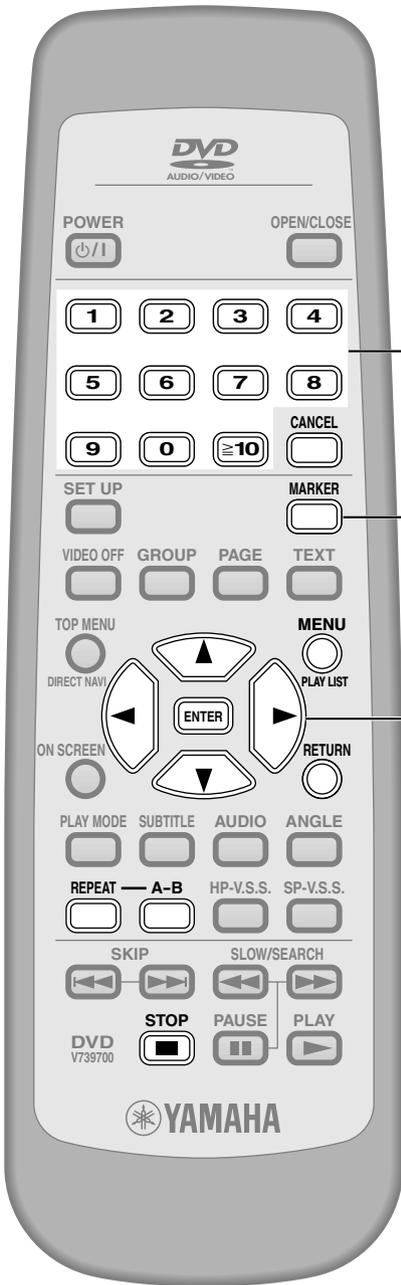
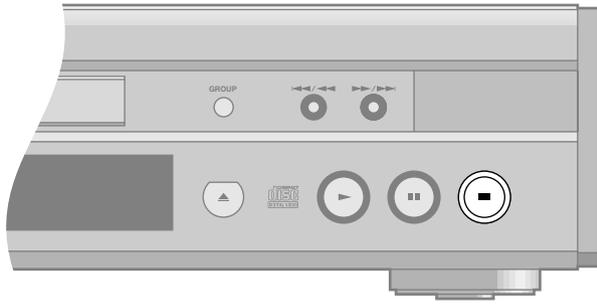
通常再生に戻る

それぞれの画面を表示して 19 ページの操作を行うと、選んだ再生モードで再生が始まります。

お知らせ

プログラム / ランダム画面で DVD オーディオの「ボーナスグループ」を選んだときは、暗証番号 (4 ケタ) を入力してください。(P.17 ページ)

いろいろな再生を楽しむ（つづき）



数字ボタン

1・2
1・2

2

好みの位置を記憶させる（マーカー）

再び見たい（聞きたい）箇所マークを付けておくと、後でそこから再生することができます。

[DVD-A] **[DVD-V]** **[VCD]** **[CD]**（マーカーは5個まで付けられます。）

1 リモコンの
[MARKER]を押す



2 マークしたいところで
[MARKER]を押す
2つ目以降は、まずカーソルボタン
[▶]を押してください。



[RAM]（マーカーは999個まで順番に付けられます。）

1 リモコンの
[MARKER]を押す



マーカーアイコンが表示されます。

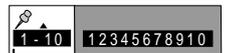
レコーダーなどでマーカーを記録したディスクを入れている場合、ディスクに記録されているマーカー番号が表示されます。

2 カーソルボタン[▶]を押して“*”を選んでから、
マークしたいところで
[MARKER]を押す



11個以上マークを付ける場合（DVD-RAM）
マーカーアイコン表示中、まず10番台の数字を選びます。

1 カーソルボタン[◀、▶]で
マーカーピンアイコンを
ハイライトさせる



マーカーピンアイコン

2 カーソルボタン[▲]で11～20を選ぶ
10個マークが付いた時点で、
次の10番台が選べます。



マーカー画面を消すには

[RETURN]を押す

マークした位置から再生するには

カーソルボタン[◀、▶]でマーク番号を選び、[ENTER]を押す

マークを取消すには

カーソルボタン[◀、▶]でマーク番号を選び、[CANCEL]を押す

レコーダーなどでRAMディスクに記録したマーカーも、取り消すことができます。ただし、この取り消したマーカーは電源を切るか、ディスクトレイを開け、再度ディスクを入ると再度表示されます。

お知らせ

プレイリスト再生時（DVD-RAM）や、再生中表示窓に経過時間が表示されないときは、マーカー機能は動きません。本機で付けたマーカーは、電源を切るか、ディスクトレイを開けると取り消されます。

RAM

マーカー番号はディスクの時間経過順に並べ替えられます。追加や取り消しを行うと、付けたときの番号と、呼び出したときの番号が異なることがあります。

繰り返し再生する(リピート再生)

再生中

リモコン



ボタンを押すたびに切り換わります。

例) DVDビデオ



DVD-RAM <プレイリスト再生時>
 PG : 番組 S : シーン
 A : ディスク全体 PL : プレイリスト 1
 切 : 通常再生 切 : 通常再生
 DVD オーディオ/ビデオ CD² / CD
 T : トラック
 A : オール(ディスク全体)/
 G³ : (グループ全体) [DVD-A]
 切 : 通常再生
 DVD ビデオ
 C : チャプター T : タイトル全体
 切 : 通常再生

- 1 プレイリストのシーン再生中は表示されません。
- 2 PBC 付ビデオ CD の場合
 メニュー再生を解除してから操作してください。
 1 再生中、表示窓の“PBC Play”が消えるまで[■]を押す
 2 数字ボタンでトラックを選び再生を始める
 3 [REPEAT]を押す
 メニュー再生に戻すには、[■]を押したあと [MENU]を押してください。表示窓に“PBC Play”が点灯します。
- 3 DVD オーディオのオールグループ/プログラム/ランダム再生時は“G”ではなく“A”と表示されます。

お好みのトラックをリピート再生するには
 (プログラムリピート再生) [DVD-A] [VCD] [CD]

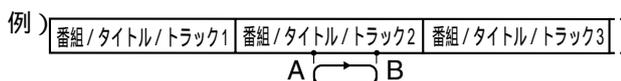
- 1 お好みのトラックを予約する(☞19ページ)
- 2 プログラム再生中に[REPEAT]を押し、

または を表示する

好みの場所を繰り返し再生する

(A-B リピート再生)

同一番組、タイトル、トラック内でお好みの2点(A点とB点)を指定して、その2点間を繰り返し再生することができます。



再生中

リモコン



押すたびに

(A点を指定) (B点を指定) (通常再生)



B点を指定すると、A-Bリピート再生が始まります。

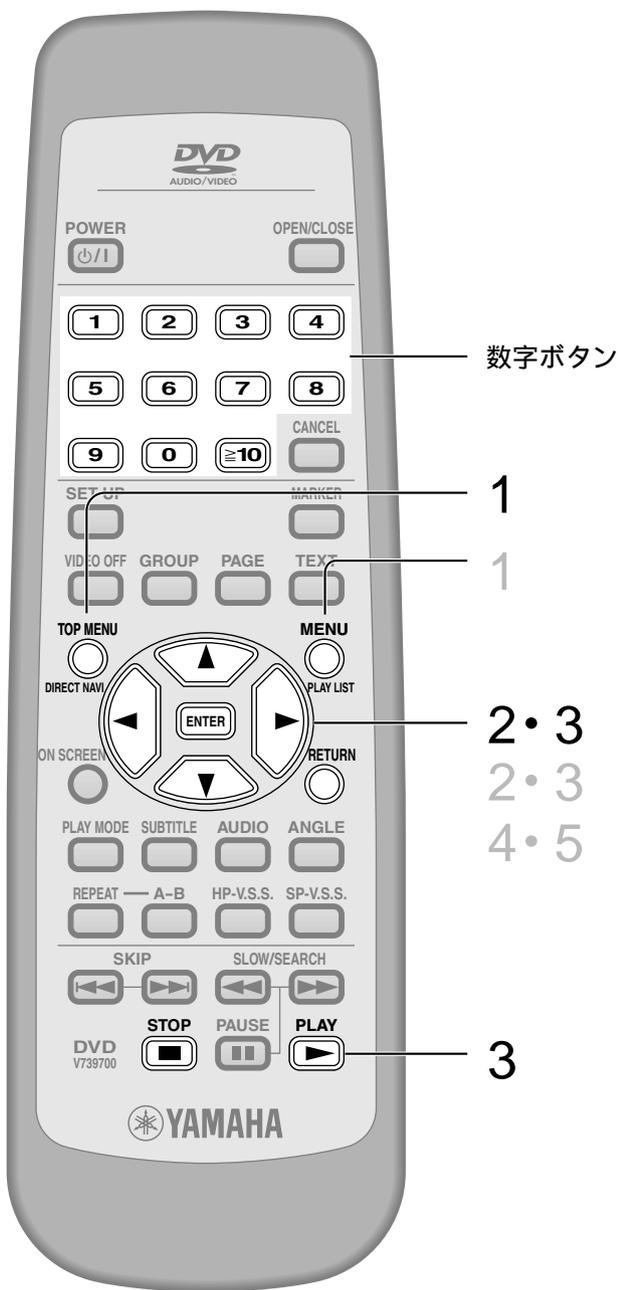
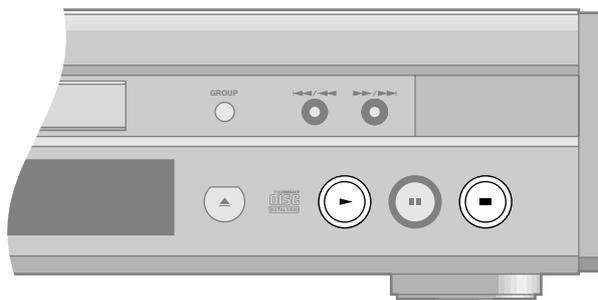
お知らせ

ディスクによっては、リピート/A-Bリピート再生が働かないものもあります。ディスク全体の繰り返し(DVDビデオ)や、全てのプレイリスト(DVD-RAM)をリピート再生することはできません。A-Bリピート再生のB点を指定する前に番組/タイトル/トラックが終わったときは、その終点がB点として指定されます。



A点とB点の前後では、字幕が表示されないことがあります。

RAM ディスクの番組を再生する



番組を選んで再生する (ダイレクトナビ再生)

ディスクに番組リストが記録されている場合、このリストを利用して、見たい番組を探し出して再生することができます。

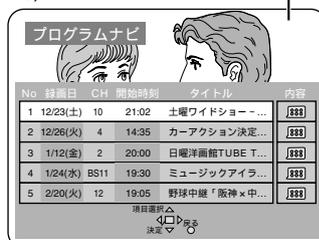
1 リモコンの

[DIRECT NAVI]を押す

リスト背景

(番組リスト画面が表示されます。)

例) ダイレクトナビ画面



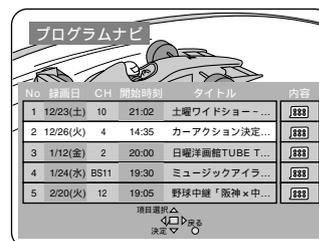
リスト背景では、
選択した番組が再生されます。

2 カーソルボタン[▲、▼]で

見たい番組を選ぶ

例) 番組“2”を選んだとき

リモコンの数字ボタン
で番組を選んだ場合、
手順3は不要です。



2ケタの数字を入力するには

例) 17を入力する: [≧10]を押し、[1][7]と
続けて押す

3 [▶] (再生) または[ENTER]を押す

(リスト背景で再生していた続きから再生されます。)

番組リスト画面を消すには

[DIRECT NAVI]を押す

(番組リスト画面を呼び出した時の画面に戻ります。)

選んだ番組の情報を見るには

1 番組を選ぶ(上記手順1、2)

2 カーソルボタン[▶]で右端の「内容」欄を選び、
[ENTER]を押す

[画面背景は静止(一時停止)状態になります。
もう一度[ENTER]を押すと、番組リスト画面に戻ります。]

番組が6以上あるときは

ハイライトが番組5にあるときにカーソルボタン[▼]
を押す。(続けて押すと、それ以降の番組リストが表示
されます。)

お知らせ

番組にタイトルが記録されていない場合やディスクに
ディスク名が記録されていない場合、タイトル/ディ
スク名は表示されません。

本機では、タイトルやディスク名の変更はできません。

好みのシーンだけを再生する（プレイリストメニュー再生）

ディスクにプレイリスト（お好みのシーンを集めたリスト）が記録されている場合、見たいシーンを探して再生することができます。

1 リモコンの

[PLAY LIST]を押す

（プレイリスト画面が表示されます。）



2 カーソルボタン[▲、▼]で

お好みのプレイリストを選ぶ

続けて[ENTER]を押すか、数字ボタンでプレイリストを選ぶと、選んだプレイリストの全シーンを初めから順番に再生することができます。

3 カーソルボタン[▶]で右端の「内容」欄を選び

[ENTER]を押す



4 カーソルボタン[▲、▼]で「シーン一覧」を選び、[ENTER]を押す



5 カーソルボタン[▲、▼、◀、▶]で

お好みのシーンを選び、[ENTER]を押す

（選択したシーンの再生が始まります。）

シーンの表示がないところへハイライト表示を動かすことはできません。

シーンが9つ以上ある場合、カーソルボタン[▲、▼、◀、▶]で「次ページ」を選び、[ENTER]を押すと、次のシーン一覧が表示されます。

「前ページ」を選ぶと1つ前のシーン一覧が表示されます。

選んだプレイリストの情報を見るには

- 1 プレイリストを選ぶ（上記手順1、2）
- 2 カーソルボタン[▶]で右端の「内容」欄を選び、[ENTER]を押す。
- 3 カーソルボタン[▲、▼]で「番組内容確認」を選び、[ENTER]を押す。



再生が終了したら

プレイリスト再生時は、プレイリスト画面（手順1）に、シーン再生時は、シーン一覧画面（手順4）に戻ります。

ひとつ前の画面に戻るには

[RETURN]を押す

画面表示を消すには

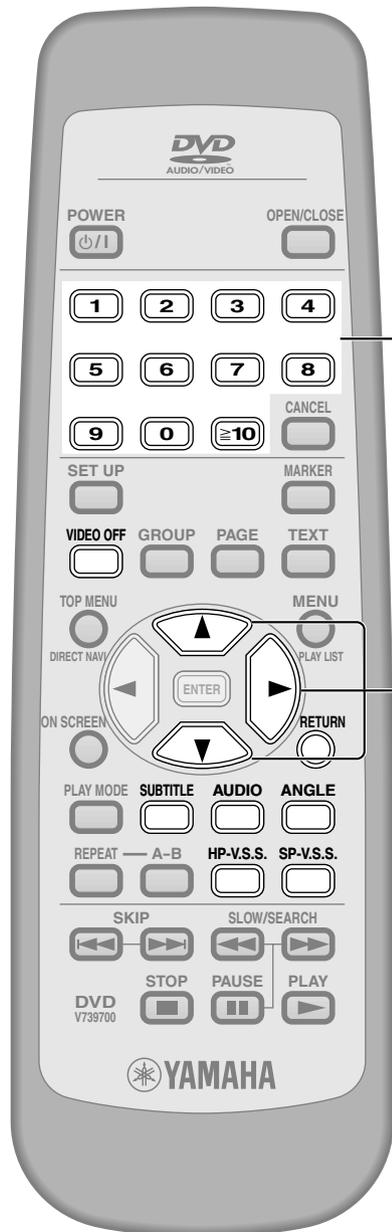
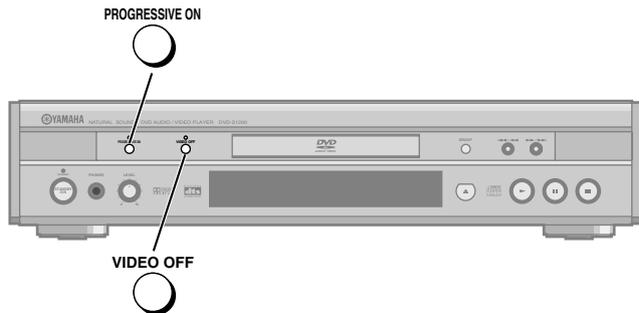
[PLAY LIST]を押す

（プレイリスト画面を呼び出した時の画面に戻ります。）

プレイリストメニュー再生をやめるには

[■]を数回押して、画面表示を消す

映画や音楽を楽しむ



2本のスピーカーやヘッドホンで サラウンド効果を楽しむ (バーチャルサラウンド V.S.S.)

RAM DVD-V VCD

スピーカー V.S.S.: ドルビーデジタル/DTS/MPEG/LPCM 2ch以上のディスク

ヘッドホン V.S.S.: ドルビーデジタル/MPEG/LPCM 2ch以上のディスク

音に広がりを与え、メインスピーカー(L/R)やヘッドホンだけでサラウンド効果を楽しむことができます。サラウンド信号があるディスクの場合、音に広がりが出るほか、スピーカーの存在しない横方向からもサラウンド信号が出ているように聞こえます。

V.S.S.: バーチャル・サラウンド・サウンド

準備

接続した機器のサラウンド機能を「切」にしてください。

再生中

リモコン

押す
SP-V.S.S.

または

リモコン

押す
HP-V.S.S.

スピーカー V.S.S.

ヘッドホン V.S.S.

押すたびにレベルが切り換わります。

例) スピーカー V.S.S.の場合



(標準)



(強)



(切)

お願い

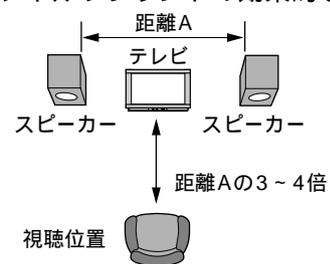
音声はずむ場合は「切」にしてください。

お知らせ

レベルを「1」や「2」に設定しても、ディスクによってはサラウンド効果が出にくいものや、出ないものがあります。

バーチャルサラウンドが働いているときはメインスピーカーからしか音声は出力されません。

バーチャルサラウンドの効果的な視聴位置



音声を切り換える

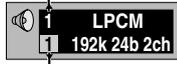
RAM DVD-A DVD-V

再生中

例) DVD オーディオ

再生中の音声番号

リモコン



選んだ音声番号
押すたびに切り換わります。
(音声記録されていないときは“—”と表示)

DVD-RAM/DVD オーディオ (動画部分以外) では、音声が切り換わると、静止画表示中に流れる音の先頭に戻ります。

選んだ音声番号は DVD オーディオの場合、2 つ目の音声がなくても通常、番号 2 まで表示します。(再生中の音声番号は 1 のままです。)

カラオケディスクでは、ボーカルの「入」「切」ができます。詳しくはディスクのジャケットなどもご覧ください。

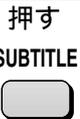
字幕言語を切り換える

RAM DVD-A DVD-V

DVD-RAM : 字幕の「入」「切」のみできます。

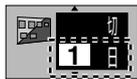
再生中

リモコン



押すたびに切り換わります。(字幕が記録されていないときは“—”と表示)

例) DVD ビデオ



変更後は字幕が表示されるまでに少し時間がかかることがあります。

字幕を「入」「切」するには

- 1 [SUBTITLE] を押す
- 2 (DVD オーディオ/DVD ビデオのみ) カーソルボタン [▶] を押す
- 3 カーソルボタン [▲、▼] で「入」「切」を選ぶ

アングルを切り換える

DVD-A DVD-V

再生中

リモコン

押すたびに番号が切り換わります。



あらかじめアングル番号を指定しておくことができるディスクもあります。詳しくはディスクのジャケットなどもご覧ください。

より高音質で聴く (VIDEO OFF)

RAM DVD-A DVD-V VCD CD

映像信号の出力を止め、音声信号のみを出力することで高音質な音声が楽しめます。

リモコン

本体



または



本体のランプが点灯します。

再度、ボタンを押すか、電源を切ると解除されます。(ランプが消灯します。)

より高画質を楽しむ

RAM DVD-A DVD-V VCD

本機のコンポーネント映像出力端子 (Y, P_B/C_B, P_R/C_R) と D1/D2 映像出力端子はプログレッシブ出力に対応しているため、プログレッシブ入力対応のテレビを使用することで、高密度でちらつきの少ない高品質な映像が楽しめます。

本体



本体のランプが点灯します。再度、ボタンを押すか、電源を切ると解除されます。(ランプが消灯します。)

音声 / 字幕 / アングルの画面表示を消すには [RETURN] を押す

“⊙” がテレビ画面に表示されたときはディスクに記録されていない音声 / 字幕 / アングル番号を選んでいないため入力できません。

ビデオオフ機能について

停止時や早送りなどの操作時は、映像信号が送られず。それ以外は、映像信号が出ないためテレビ画面は少し乱れた状態になります。

お知らせ

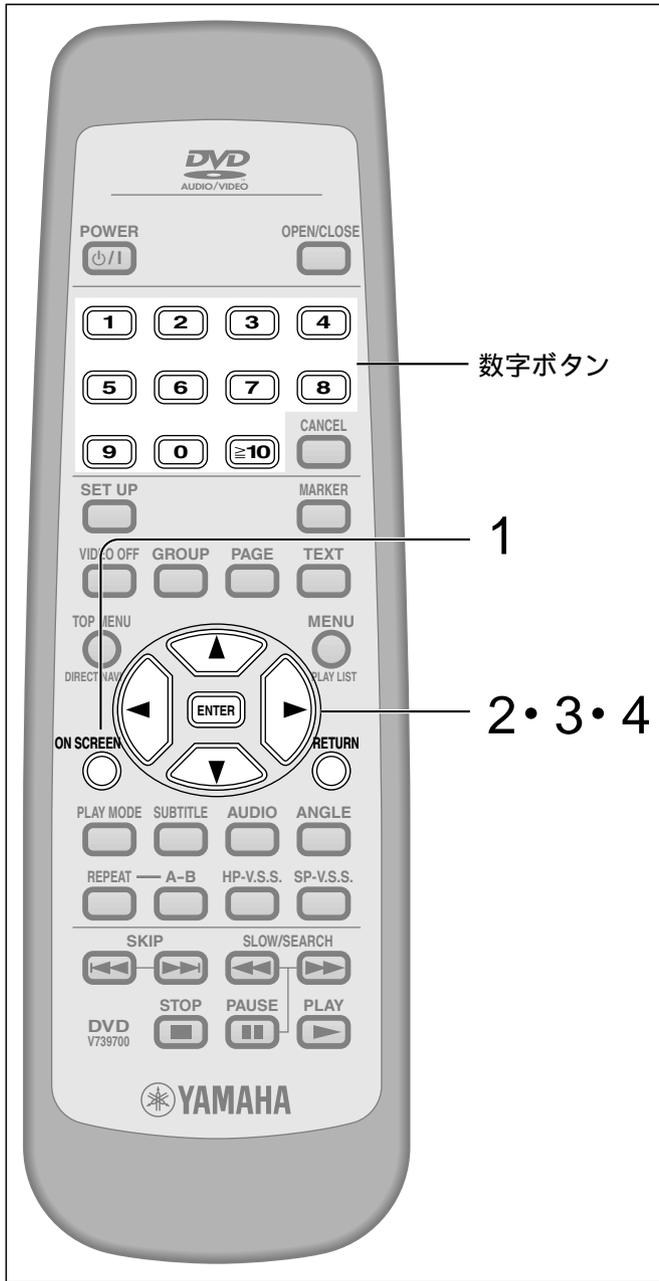
カーソルボタン [▲、▼] や数字ボタンで音声 / 字幕 / アングル番号を選ぶこともできます。アイコンの “△、▽” マークは、カーソルボタン [▲、▼] で変更できることを示します。一つしか音声 / 字幕 / アングルが記録されていない場合は、“△、▽” マークは表示されません。メニュー画面でのみ音声 / 字幕 / アングルの切り換えができるディスクもあります。最初から好みの言語で聞きたい / 見たい場合は、音声 / 字幕言語の設定を行ってください。(“ディスク” 31 ページ)

絵表示 (GUI 画面) を使って操作する

ジー・ユー・アイ グラフィカル・ユーザー・インターフェース

GUI (Graphical User Interface) とは

「画面を見ながら操作ができる」ことを意味し、本機の場合はディスクや本機の情報などを表示する画面を「GUI画面」と呼びます。情報を確認しながら内容を変更できます。



画面表示を消すには

GUI画面が消えるまで[RETURN]を押す

GUI画面の位置を変えるには

- 1 カーソルボタン [◀、▶] 例)
- 2 カーソルボタン [▲、▼] でGUI画面の位置を変える (5段階)



お知らせ

表示内容はディスクによって異なります。ディスクや再生状態 (停止中など) によっては操作できないものがあります。

GUI画面の操作方法

1 [ON SCREEN]を押す

(GUI画面が表示されます。)
押すたびに切り換わります。

例) DVDビデオの場合

<ディスク情報画面> (☞27ページ)



<本機情報画面> (☞28ページ)



<シャトル画面> (☞27ページ)



GUI表示なし ←

2 (本機情報画面のみ)

カーソルボタン [◀、▶] でハイライトを左端のアイコンに移動し、カーソルボタン [▲、▼] でメニューを選ぶ

カーソルボタン [▲、▼] を押すたびに
再生設定



表示設定 ↓



音声設定 ↓



映像設定 ↓



3 カーソルボタン [◀、▶] で項目を選ぶ

内容については27～29ページをご覧ください。シャトル画面の場合、この手順は不要です。

4 カーソルボタン [▲、▼] で内容を変更する

変更が実行されないときは、[ENTER]を押してください。数字ボタンで変更できるものもあります。

ディスク情報画面の表示例

例) DVD ビデオ
の場合



アイコン	内容
	プログラム番号 [RAM]
	プレイリスト番号 [RAM]
	グループ番号 [DVD-A]
	タイトル番号 [DVD-V] トラック番号 [DVD-A] [VCD] [CD]
	チャプター番号 [DVD-V]
	経過時間 [DVD-A] [DVD-V] (番組経過時間: [RAM]) 数字ボタンで指定した時間から再生 例) 1時間46分50秒から再生するとき [1]>[4]>[6]>[5]>[0]>[ENTER] を押す 時間表示 [DVD-A] [VCD] [CD] 内容変更はできません。 → トラックの経過時間 ↓ トラックの残り時間 ↓ → ディスクの残り時間
	音声チャンネル [RAM] [VCD] チャンネルを選ぶとその音声で再生 LR ↔ L ↔ R (左右) (左) (右)

アイコン	内容
例) DVD ビデオ 	音声番号 [RAM] [DVD-A] [DVD-V] 番号を選ぶとその音声で再生 a 番号に割り当てられた言語 (☞ 下記 a) b 番号に割り当てられた音声属性 (☞ 下記 b)
	カラオケボーカル「入」「切」 [DVD-A] [DVD-V] (カラオケ DVD のみ) ソロ: 切↔入 デュエット: 切↔ V1 + V2 ↔ V1 ↔ V2 ↑ ↑
	字幕番号 [DVD-A] [DVD-V] 番号を選ぶとその字幕を表示 (☞ 下記 a)
	字幕「入」「切」 [RAM] [DVD-A] [DVD-V] 字幕を「入」「切」する
	アングル番号 [DVD-A] [DVD-V] 番号を選ぶとそのアングルで再生
	メニュー再生の「入」「切」表示 (PBC 付 [VCD] ☞ 39 ページ) 内容変更はできません
	静止画番号 [DVD-A] 番号を選ぶとその画像で再生

a 音声 / 字幕言語

日: 日本語 伊: イタリア語 露: ロシア語
英: 英語 西: スペイン語 韓: 韓国語
仏: フランス語 蘭: オランダ語 *: その他
独: ドイツ語 中: 中国語

b 音声属性

LPCM/PPCM (パケットPCM) /
Digital/DTS/MPEG: 信号タイプ
k (kHz): サンプリング周波数
b (bit): ビット数
ch: チャンネル数

シャトル画面の表示例

	静止 / 一時停止
	スロー再生 ◀◀: 戻る [RAM] [DVD-A] [DVD-V] ▶▶: 進む [RAM] [DVD-A] [DVD-V] [VCD]
	再生
	早送り / 早送り ◀◀: 戻る ▶▶: 進む

お知らせ

早送り / 早戻し、スロー再生の速度は5段階あります。
シャトル画面両端の数値は早戻し / 早送りの最大速度を表示しています。
ディスクによって操作できないものもあります。
DVD オーディオのスロー再生は、動画部でのみ可能です。

絵表示 (GUI画面) を使って操作する (つづき)

本機情報画面の表示例

再生設定



アイコン	内容
	A-B リpeat再生 (☞21 ページ) [RAM] [DVD-A] [DVD-V] [VCD] [CD] 再生中[ENTER]を押すたびに A点を指定 → B点を指定 → 通常再生 ↑
	リピート再生 (☞21 ページ) [RAM] PG (プログラム) A (ディスク全体) 切 (通常再生) <プレイリスト再生時> S (シーン) PL (プレイリスト) 切 (通常再生) ----- [DVD-V] C (チャプター) T (タイトル) 切 (通常再生) ----- [DVD-A] [VCD] [CD] T (トラック) A (ディスク全体) / G (グループ全体) 切 (通常再生)
	再生モード表示 [DVD-A] [VCD] [CD] 内容変更はできません。 RND : ランダム再生 PGM : プログラム再生 --- : 通常再生 ALL : オールグループ ([DVD-A])
[DVD-A] [DVD-V] [VCD] [CD]	マーカー もう一度再生したいところにマークを 付ける (☞20 ページ)
	[DVD-A] [DVD-V] [VCD] [CD]: 最大 5 カ所 [RAM]: 最大 999 カ所
[RAM]	再生中、[ENTER]を押し、マークを 付けたいところでもう一度押す
	複数のマークを付けるには カーソルボタン [▶] を押し、 マークを付けたいところで[ENTER]を 押す ([RAM] ☞20 ページ)
	マークを呼び出すには カーソルボタン[◀、▶]でマークを選 び[ENTER]を押す
	マークを取消すには カーソルボタン[◀、▶]でマークを選 び[CANCEL]を押す

表示設定



アイコン	内容
	ビットレート表示 [RAM] [DVD-V] [VCD] 「入」 ↔ 「切」 映像の種類 (I / P / B ☞38 ページ) と ビットレートを表示する (値は目安です) 動画再生時: 再生画像の平均ビットレート 静止時: 映像の種類とフレームのデータ量
	FL ディマ - 本体表示窓の明るさを調節する 明 ↔ 暗 ↔ オート ↑ 再生中には暗くなり、本体のランプ類も 消灯します。一時停止などの操作をする と、一時的に明るくなり、ランプも点灯 します。

音声設定



アイコン	内容
	バーチャルサラウンド (V.S.S.) (☞24 ページ) [RAM] [DVD-V] [VCD] スピーカー V.S.S. (SP-V.S.S.) ドルビーデジタル/DTS/MPEG/LPCM 2ch以上のディスク ヘッドホン V.S.S. (HP-V.S.S.) ドルビーデジタル/MPEG/LPCM 2ch以上のディスク
	V.S.S.レベル SP 1/HP 1 : 標準 SP 2/HP 2 : 強 SP 切/HP 切 : V.S.S.解除
	ダイアログエンハンサー「入」「切」 [DVD-V] (ドルビーデジタル / DTS 3ch以上のディスク) 「入」を選ぶとセンターチャンネルのセ リフの音量が上がる

お知らせ

DVD-RAMのプレイリストを再生時(☞23 ページ)、マーカー機能は働きません。プレイリストのシーンを再生中、PL (プレイリスト) は表示されません。

映像設定



アイコン	内容	
	<p>画質モード [RAM] [DVD-A] [DVD-V] [VCD]</p> <p>N : 通常画質 S : ソフト画質 (ざらつきの少ない柔らかな画質) F : ファイン画質 (輪郭の強調されたクッキリした画質) C : シネマ画質 (映画鑑賞に適した画質)</p> <p>U1/U2/U3 /U4 : ユーザー画質 ユーザー画質を調節するには 1 カーソルボタン [▲、▼] でユーザー画質モードを選び、カーソルボタン [▶] を押す 2 カーソルボタン [▲、▼] で 1 ~ 4 を選ぶ 3 カーソルボタン [◀、▶] で変更したい項目を選ぶ 4 カーソルボタン [▲、▼] で数値を変更する</p>	
U1 (よく使う映像の調節)		Contrast (- 7 ~ + 7) 映像の白い部分と黒い部分に強弱をつける
		Brightness (0 ~ + 15) 画面全体を明るくする
		Sharpness (- 6 ~ + 6) 映像の水平方向の鮮鋭度 (解像感) を調節する
		Color (- 7 ~ + 7) 色の濃さを調節する
		Gamma (0 ~ + 5) 映像の中間明度を強調し、暗くて見えにくい場面でも輪郭を忠実に再現する
U2 (ノイズを抑える)		3D-NR (0 ~ + 4) 画面全体のノイズを取り除く
		Block NR (0 ~ + 3) 動画に見られるモザイク状のノイズを取り除く
		Mosquito NR (0 ~ + 3) 文字の周辺など、周囲とのコントラストがはっきりした部分に見える、もやのようなノイズを取り除く

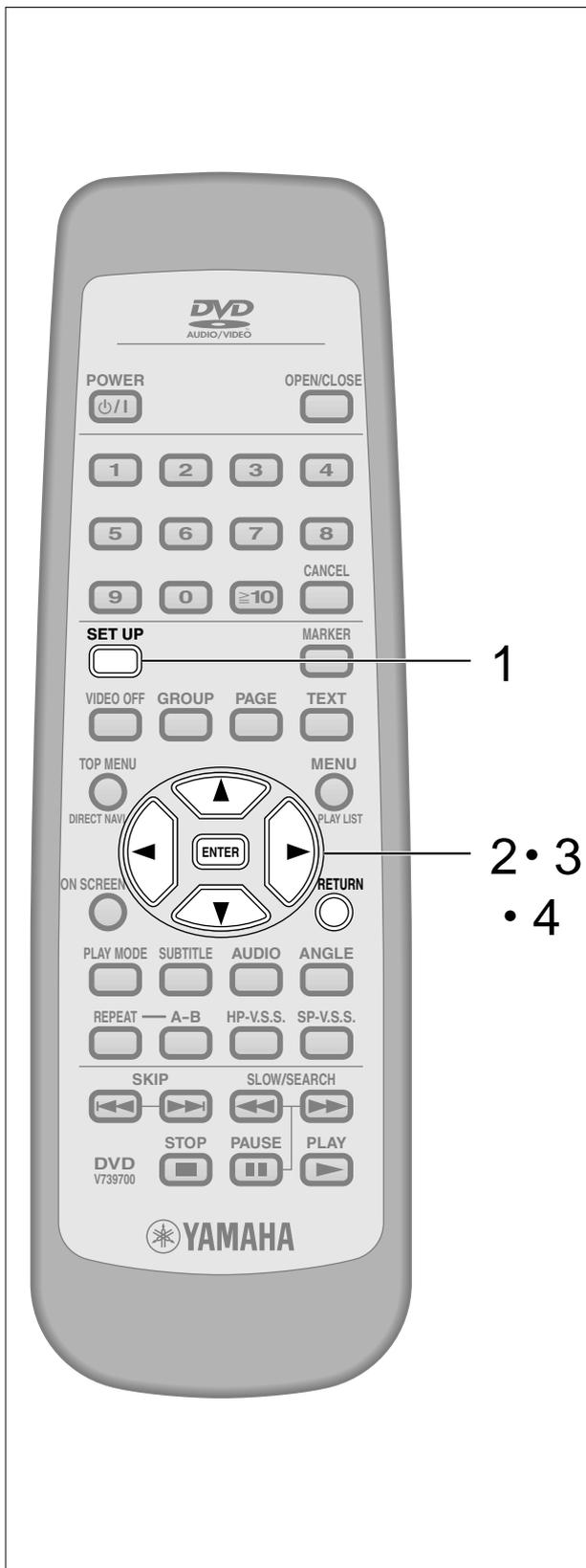
ユーザー画質について
 ユーザー画質の設定はディスクごとに記憶されます (最大 200 枚)。記憶させたディスクを次に再生する時、ユーザー画質モードを選ぶと、記憶された内容でディスクを再生できます。
 設定後、他の画質モード (N/S/F/C) を選び、ディスクを取り出したり本体の電源を切ると設定は記憶されません。初めて再生するディスクには直前の設定が適用されます。

アイコン	内容	
U3 (画像の際立ちを調節)		High sharpness (- 6 ~ + 6) 映像の水平方向の鮮鋭度 (解像感) を細かな部分まで調節する
		V sharpness (- 1 ~ + 2) 映像の垂直方向の鮮鋭度 (解像感) を高める
		Edge (0 ~ - 3) 映像の際立ちを補正し、奥行き感を出す
		TINT (- 15 ~ + 15) 映像全体の色相を変化させる
U4 (素材の特徴を生かす)		Transfer MODE プログレッシブ出力に変換する方式を素材 (P.39 ページ) に応じて使い分ける。 Auto1 (標準) : 映画再生に適した変換 Auto2 : 映画再生に適した変換 (Auto1 の変換方法に加え、30 コマ/秒で記録されたプログレッシブ映像にも対応。) Auto3 : アニメ再生に適した変換 (30 コマ/秒で記録されたプログレッシブ映像にも対応。) Video : ビデオ素材に適した変換
		4 : 3 ASPECT 画面の横縦比が 16 : 9 のプログレッシブテレビに接続したとき、映像を適正な画面比にする。 Nor. (標準) : テレビの画面幅いっぱい映す Auto: 4 : 3 レターボックスの映像をフル、または、画面両端に黒帯を付けて映す Shr. (シュリンク) : テレビ画面中央に 4 : 3 の画面比にして映す Zoom : 4 : 3 レターボックスの映像が「Nor.」や「Auto」ではテレビの画面幅いっぱいに表示できない時に選ぶ
		Shift Position (0 ~ + 15) 字幕の位置を調節する (“ 4 : 3 ASPECT ” の “ Auto ” または “ Zoom ” でフル画面になったときに効果があります。)
		Output 色調や輝度を変化させる Nor. (標準) : 通常の映像 Sepia : セピア色の映像 Mono (モノクロ) : 白黒の映像 Nega : 写真ネガのように輝度と色を反転させた映像

初期設定を変更する

お知らせ

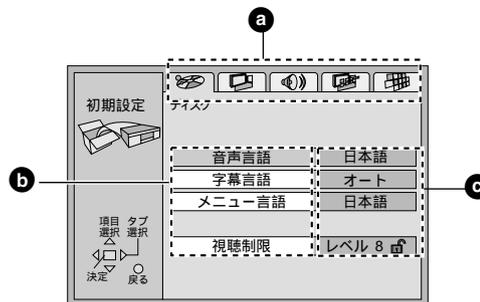
31 ページの一覧表をご覧になり、必要であれば右の操作で変更してください。
設定内容は、電源を切っても次に変更するまで保持されます。



設定方法

1 [SET UP]を押す

(初期設定画面が表示されます。)



a タブ (メニュー項目)

ディスク、映像、音声、画面表示、その他で構成される初期設定のメニュー項目です。このタブを選ぶことで、各項目の設定画面を呼び出します。

b 設定項目

選択したタブ内の設定項目です。

c 設定内容

設定項目の設定状態を表示します。

2 カーソルボタン [◀、▶] で 設定したいタブを選ぶ



3 カーソルボタン [▲、▼] で

設定項目を選び、[ENTER] を押す
(設定内容画面が表示されます。)

4 カーソルボタン [▲、▼] で

設定内容を選び、[ENTER] を押す
(手順 2 で選んだ画面に戻ります。)

ひとつ前の画面に戻るには
[RETURN] を押す

設定を終了するには
[SET UP] を押す

初期設定一覧表 (設定方法 30 ページ)

メニュー項目	設定項目	設定内容
ディスク (32 ページ)	音声言語 [DVD-A] [DVD-V] 言語 (音声) が選べます。	● 日本語 ● 英語 ● オリジナル ¹ ● その他 * * * * ²
	字幕言語 [DVD-A] [DVD-V] 言語 (字幕) が選べます。	● オート ³ ● 日本語 ● 英語 ● その他 * * * * ²
	メニュー言語 [DVD-A] [DVD-V] メニューなど、テレビ画面に表示される言語が選べます。	● 日本語 ● 英語 ● その他 * * * * ²
	視聴制限 [DVD-V] 視聴が制限できます。(33 ページ)	● レベル 8 ● レベル 7 ~ 1 ● レベル 0 ● ロック解除 ● 暗証番号変更 ● レベル変更 ● 一時解除
映像	TV アスペクト お使いのテレビサイズに合った画面表示方法が選べます。 (34 ページ)	● 4 : 3 パン&スキャン ● 4 : 3 レターボックス ● 16 : 9
	接続する TV 接続したテレビの種類に合わせて設定します。(34 ページ)	● 標準(ブラウン管テレビ) ● 3 管式プロジェクター ● 液晶プロジェクター ● プロジェクションテレビ
	スチルモード 静止画像の表示方法が選べます。(32 ページ)	● オート ● フィールド ● フレーム
	S 端子出力 S1/S2 のモード 本体後面の S1、S1/S2 映像出力端子への接続に合わせて 設定します。(32 ページ)	● S1 ● S2
音 声	スピーカー設定 [DVD-A] [DVD-V] 接続したスピーカーシステムに合わせて設定します。スピー カーの出力設定により、理想的な音空間を創ります。 (35 ページ)	マルチチャンネル スピーカーを 3 本以上接続するとき (スピーカーの有無やサイズ、ディレイ タイム、チャンネルバランスの設定も 必要となります。 35 ページ) 2 チャンネル スピーカーを 2 本接続するときや、ドル ビープロロジックデコーダーに接続する とき
	デジタル出力 デジタル出力をする/しないかが選べます。(32 ページ)	● 入 ● 切
	PCM ダウンサンプリング変換 [DVD-A] [DVD-V] 接続に応じて著作権保護処理のされていないディスクの音声 信号の出力方法が選べます。(36 ページ)	● しない ● する
	Dolby Digital [DVD-A] [DVD-V] 接続に応じて、ドルビーデジタルの信号をそのままの状態 (Bitstream) で出力するか、デコーダーを通さなくても聞 ける状態 (PCM 2ch) に処理して出力するかが選べます。 (36 ページ)	● Bitstream ● PCM
	DTS Digital Surround [DVD-A] [DVD-V] 上記のドルビーデジタルと同様の選択を、DTS 信号に対し て行えます。(36 ページ)	● PCM ● Bitstream
	音声のダイナミックレンジ圧縮 [RAM] [DVD-A] [DVD-V] (ドルビーデジタルのみ) 小音量でも映画のセリフを聞き取りやすくします。	● 切 ● 入
	早送り時の音声 [RAM] [DVD-A] [DVD-V] [VCD] 早送りする時、音声聞こえるようにする/しないが選べます。 (32 ページ)	● あり ● なし
画面表示	画面メニュー言語 初期設定画面の言語や、操作時にテレビ画面に表示される言 語が選べます。	● 日本語 ● English (英語)
	画面メッセージ 操作時にテレビ画面にメッセージを表示する/しないが選べます。	● 入 ● 切
その他	デモモード 「する」を選ぶと、テレビ画面上でデモンストレーション表 示が始まります。(デモは、リモコン・本体のどのボタンを 押しても停止し、設定は「しない」に戻ります。)	● しない ● する

初期設定を変更する(つづき)

初期設定一覧表(つづき)(設定方法 30 ページ)

音声言語/字幕言語/メニュー言語について

- 1 “オリジナル” :
ディスクの最優先言語が選ばれます。
- 2 “その他****” :
数字ボタンで言語番号を入力します。(下記参照)
- 3 “オート” :
“音声言語” で選んだ言語で音声再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示します。

お知らせ

ディスクによっては、ディスク内で決められている言語でしか再生できないものもあります。

視聴制限について

- レベル 8 : すべての DVD ビデオが再生可。
 レベル 7 ~ 1 : 制限レベルが設定されている DVD ビデオ(成人向けや暴力シーンを含むものは、レベルに応じて再生が不可)。
 レベル 0 : すべての DVD ビデオの再生が不可。

お知らせ

- レベル 0 ~ 7 のうちいずれかのレベルを選ぶと、暗証番号入力画面が表示されます。(33 ページ)
- 制限レベルが記録されていない DVD ビデオの再生を制限するときは、“レベル 0” を選んでください。

スチルモードについて

- オート: フレームで静止するかフィールドで静止するかを自動的に切り換える
 フィールド: 「オート」設定時に、画像のブレが発生するときに選ぶ
 フレーム: 「オート」設定時に、小さい文字や細かい絵柄が見えにくい時に選ぶ

S 端子出力 S1/S2 のモードについて

- S1: テレビの S または S1 映像入力端子に接続しているとき
 S2: テレビの S2 映像入力端子に接続しているとき

デジタル出力について

- 入:(工場出荷時)
 デジタル出力できます。
 切: デジタル出力しません
 アナログ接続している場合、アナログ音声の音質がよくなります。

早送り時の音声について

- DVD オーディオのディスクには、設定を「なし」にしても音声聞こえるものがあります。
 ドルビーデジタル 5.1ch または DTS のビットストリーム時に音声途切れるときは、設定を「なし」にしてください。

言語番号一覧表

アイスランド	: 7383	カンナダ	: 7578	タタール	: 8484	フリジア	: 7089
アイマラ	: 6588	カンボジア	: 7577	タミル	: 8465	ブータン	: 6890
アイルランド	: 7165	キルギス	: 7589	タガログ	: 8476	ブルガリア	: 6671
アゼルバイジャン	: 6590	ギリシャ	: 6976	タジク	: 8471	ブルターニュ	: 6682
アッサム	: 6583	クルド	: 7585	チェコ	: 6783	ヘブライ	: 7387
アフアル	: 6565	クローチア	: 7282	中国語	: 9072	ベトナム	: 8673
アフリカーンス	: 6570	グアラニー	: 7178	チベット	: 6679	ベロルシア(白ロシア)	
アプハジア	: 6566	グジャラト	: 7185	ティグリニア	: 8473		: 6669
アムハラ	: 6577	グリーンランド	: 7576	テルグ	: 8469	ベンガル(バングラ)	
アラビア	: 6582	グルジア	: 7565	デンマーク	: 6865		: 6678
アルバニア	: 8381	ケチュア	: 8185	トウイ	: 8487	ベルシャ	: 7065
アルメニア	: 7289	ゲール(スコットランド)		トルクメン	: 8475	ポーランド	: 8076
イタリア	: 7384		: 7168	トルコ	: 8482	ポルトガル	: 8084
イディッシュ	: 7473	コーサ	: 8872	トンガ	: 8479	マオリ	: 7773
インターリングア	: 7365	コルシカ	: 6779	ドイツ	: 6869	マケドニア	: 7775
インドネシア	: 7378	サモア	: 8377	ナウル	: 7865	マライ(マレー)	: 7783
ウエルズ	: 6789	サンスクリット	: 8365	日本語	: 7465	馬拉ツタ	: 7782
ウオロフ	: 8779	ショナ	: 8378	ネパール	: 7869	マラヤーラム	: 7776
ヴォラビュック	: 8679	シンド	: 8368	ノルウェー	: 7879	マルタ	: 7784
ウクライナ	: 8575	シンハラ	: 8373	ハウサ	: 7265	マダガスカル	: 7771
ウズベク	: 8590	ジャワ	: 7487	ハンガリー	: 7285	モルダビア	: 7779
ウルドゥー	: 8582	スウェーデン	: 8386	バシキール	: 6665	モンゴル	: 7778
英語	: 6978	スロバキア	: 8375	バスク	: 6985	ヨルバ	: 8979
エストニア	: 6984	スロベニア	: 8376	バシュト	: 8083	ラオ	: 7679
エスペラント	: 6979	スワヒリ	: 8387	バンジャブ	: 8065	ラテン	: 7665
オーリヤ	: 7982	スンダ	: 8385	ヒンディー	: 7273	ラトビア(レット)	: 7686
オランダ	: 7876	スペイン	: 6983	ビハール	: 6672	リトアニア	: 7684
カザフ	: 7575	ズールー	: 9085	ビルマ	: 7789	リンガラ	: 7678
カシミール	: 7583	セルビア	: 8382	フィジー	: 7074	ルーマニア	: 8279
カタロニア	: 6765	セルボクロアチア	: 8372	フィンランド	: 7073	レトロナンス	: 8277
ガリチア	: 7176	ソマリ	: 8379	フェロー	: 7079	ロシア	: 8285
韓国(朝鮮)語	: 7579	タイ	: 8472	フランス	: 7082		

視聴制限（設定方法と内容 30～32 ページ）

DVD-V

視聴制限レベルを設定する（レベル8のとき）

お子さまなどに見せたくないDVDビデオがそのまま再生されないように設定できます。暗証番号を入力しない限り、再生や設定の変更はできません。

レベル0～7のうちいずれかのレベルを選ぶと、暗証番号入力画面が表示されます。

- 1 数字ボタンで暗証番号（4ケタ）を入力する
間違った数字を入力したときは、**[CANCEL]**を押してください。

暗証番号は忘れないでください。



- 2 **[ENTER]**を押す
- 3 もう一度、**[ENTER]**を押す
（暗証番号が確定し、ロックがかかります。）

設定した視聴制限レベルを超えたDVDビデオを再生すると、メッセージがテレビ画面に表示されます。そのときは画面の指示に従ってください。

制限内容を変更する（レベル0～7のとき）

初期設定画面で“視聴制限”を選ぶと、暗証番号入力画面が表示されます。

- 1 数字ボタンで暗証番号（4ケタ）を入力し、**[ENTER]**を押す

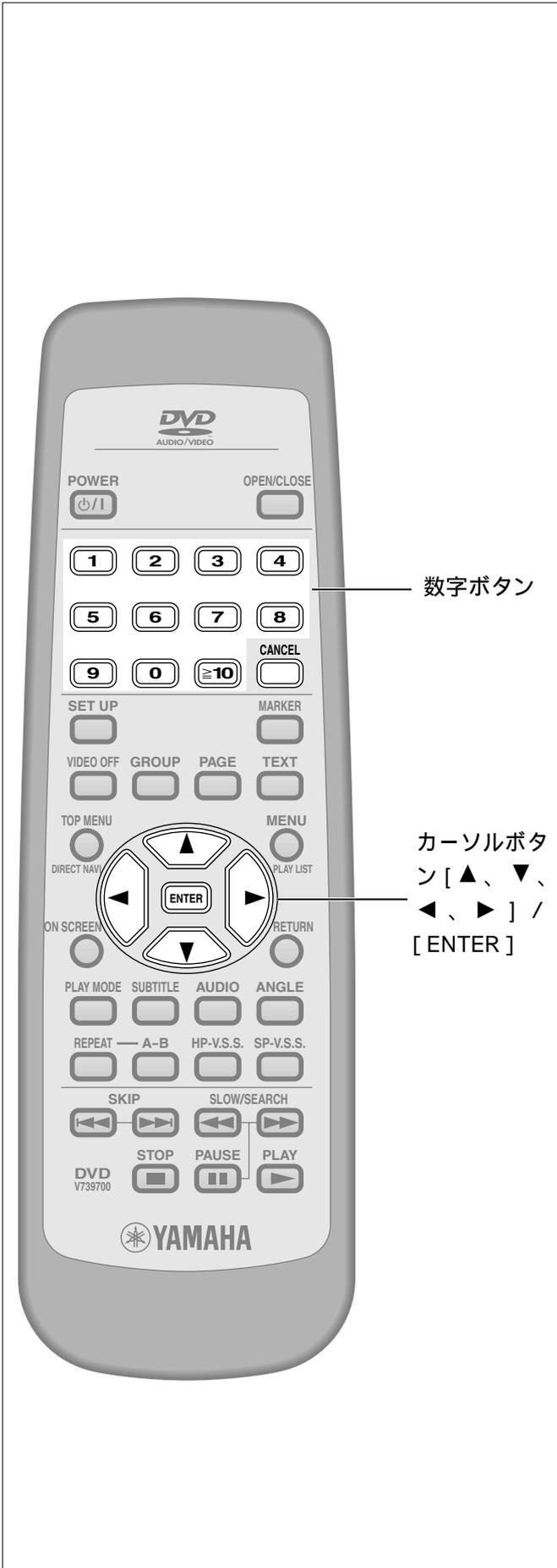
ロック解除： 制限を解除してレベル8に戻す

暗証番号変更： 暗証番号を変更する

レベル変更： 制限レベルを変更する

一時解除： 一時的に制限レベルを解除する（電源を切るかディスクトレイを開けるまで一時解除の状態が続きます。）

- 2 カーソルボタン [**▲**、**▼**] で項目を選び、**[ENTER]**を押す

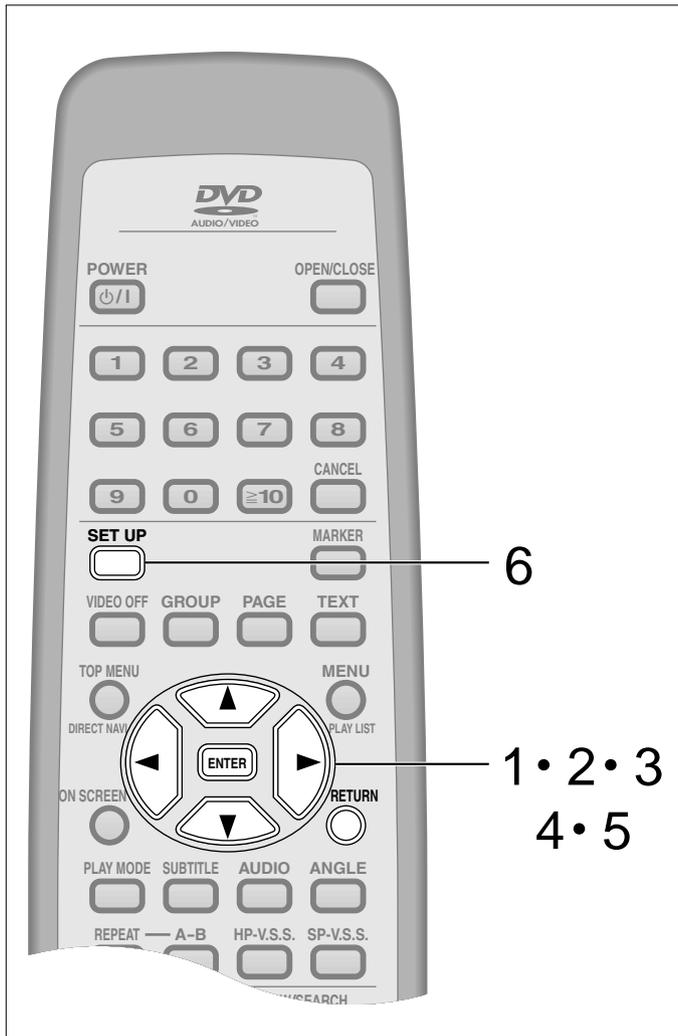


初期設定を変更する（つづき）

お手持ちのテレビやお好みに合わせて設定を変更することができます。

準備

テレビの電源を入れて、外部入力（「ビデオ1」など）を切り換える。



お知らせ

DVDの画面横縦比はディスクによってさまざまです。

標準サイズ（4：3）のテレビへの表示方法は右記の設定で選べます。

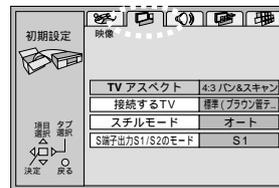
ワイドテレビ（16：9）への表示方法は、プログレッシブ出力（[38ページ](#)）のときは、本機のGUI操作（4：3 ASPECT [29ページ](#)）で、インターレース出力のときは、テレビ側の画面モードで切り換えることができます。

テレビのメーカーや機種によっては、最適な設定が手順3の内容と異なる場合があります。

GUI画面を使って画質を調節することもできます。（「画質モード」[29ページ](#)）

テレビに合わせて設定する（設定方法と内容 [30～32ページ](#)）

- 1 カーソルボタン [▲、▼] で映像タブを選ぶ



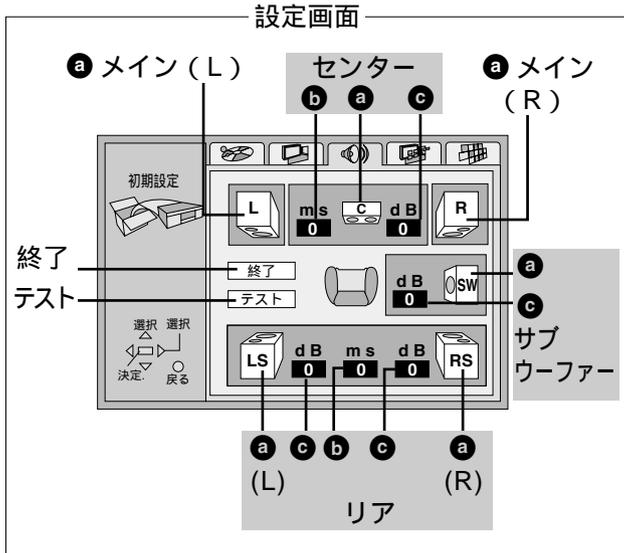
- 2 カーソルボタン [▲、▼] で“TV アスペクト”を選び、[ENTER]を押す
- 3 カーソルボタン [▲、▼] でテレビ画面の横縦比を選び、[ENTER]を押す
 - 4：3 パン&スキャン（工場出荷時）
標準サイズのテレビ [ワイドサイズのソフトをパン&スキャン（[39ページ](#)）で映したいとき]
 - 4：3 レターボックス
標準サイズのテレビ [ワイドサイズのソフトをレターボックス（[39ページ](#)）で映したいとき]
 - 16：9
ワイドサイズのテレビ
ワイドサイズ（16：9）のソフトの中には、この設定にかかわらず、レターボックスでしか映らないものもあります。
（手順1の画面に戻ります。）
- 4 カーソルボタン [▲、▼] で“接続するTV”を選び、[ENTER]を押す
- 5 カーソルボタン [▲、▼] でテレビの種類を選び、[ENTER]を押す
 - 標準（ブラウン管テレビ）（工場出荷時）
 - 標準 / ワイド / ハイビジョン / ワイドクリアビジョン / ワイドプラズマテレビなど
 - 3 管式プロジェクター
 - DLP プロジェクターやビデオプロジェクターなど
 - 液晶プロジェクター
 - 液晶プロジェクター、液晶テレビなど
 - プロジェクションテレビ
 - プロジェクションテレビなど
- 6 [SET UP]を押す
（設定が終了します。）

ひとつ前の画面に戻るには [RETURN]を押す

スピーカー設定（設定方法と内容 30 ~ 32 ページ）

DVD-A DVD-V

初期設定で“マルチチャンネル”（スピーカーを3本以上接続）を選んだとき、接続したスピーカーに応じて、以下の**①②③**の設定が必要になります。[“2チャンネル”（スピーカーを2本接続するときやドルビープロロジックデコーダーに接続）を選んだときは、設定の必要がありません。]

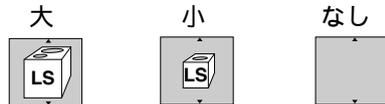


スピーカーの有無とサイズ（①）

- カーソルボタン [▲、▼、◀、▶] で項目を選び [ENTER] を押す
- カーソルボタン [▲、▼] で内容を変更し、[ENTER] を押す
 大：スピーカーが 100 Hz 以下を再生できるとき
 小：スピーカーが 100 Hz 以下を再生できないとき

工場出荷時のスピーカーサイズ

メイン (L/R) : 大
 センター/リア (L/R) : 大
 サブウーファ - : あり
 リア (L) の場合の表示例



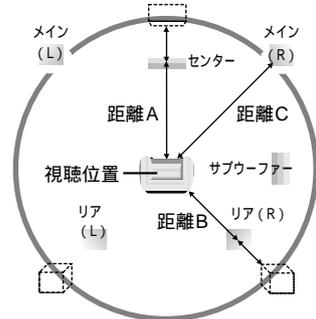
お知らせ

メインスピーカーのスピーカーサイズはサブウーファ-の設定で自動的に決まります。（サブウーファ-を接続しない場合、100 Hz 以下の低音を再生できるメインスピーカーを接続することをおすすめします。）
 DVD オーディオ再生時、ディスクやプレーヤー側の制約により設定通りに音が出ないことがあります。（本体表示窓で“P.PCM”が点灯、または“D.MIX”が消灯状態になります。）

ディレイタイム（②）

（ドルビーデジタルで記録された DVD ビデオのセンター/リアチャンネルのみ）

5.1 ch 音声を楽しむには、すべてのスピーカー（サブウーファ-は除く）を右記のように円上に置くのが理想的です。置けない場合は、ディレイタイムの設定をすると音声出力に遅延効果を与え仮想的に理想の視聴位置を実現します。



- カーソルボタン [▲、▼、◀、▶] で項目を選び [ENTER] を押す
- カーソルボタン [▲、▼] で内容を変更し、[ENTER] を押す

設定値

距離 A/距離 B ≧ 距離 C : 0 ms

距離 A/距離 B < 距離 C : 下記の設定を行う

<センター>

距離の差	設定値
約 50 cm	1.3 ms
約 100 cm	2.6 ms
約 150 cm	3.9 ms
約 200 cm	5.3 ms

<リア>

距離の差	設定値
約 200 cm	5.3 ms
約 400 cm	10.6 ms
約 600 cm	15.9 ms

出力バランス（③）

各スピーカーの音量レベルが異なるとき調節します。

- カーソルボタン [▲、▼、◀、▶] で“テスト”を選び [ENTER] を押す
 「ザ - 」というテスト音が以下の順でスピーカ - から出力されます。
 メイン (L) → センター → メイン (R)
 ↑ ↓
 リア (L) ← リア (R)
- メインと同じ音量で聞こえるように、センター/リアスピーカー (L/R) の音量をカーソルボタン [▲、▼] で調節する (-6 dB ~ +6 dB)
 メインスピーカーの音量調節はできません。
- [ENTER] を押す (テスト音が止まります。)
 サブウーファ-からはテスト音が出力されません。
 ディスクを再生し、音量を確認してから調節してください。

お願い

出力バランスの調節は、アナログ接続時のみ有効です。デジタル接続時は AV アンプのテストシーンで調節してください。

設定を終了するには

カーソルボタン [▲、▼、◀、▶] で“終了”を選び [ENTER] を押す

初期設定を変更する（つづき）

デジタル出力の設定（設定方法と内容 30～32ページ）

DVD-A | DVD-V

本体のデジタル音声出力端子（光 / 同軸）と接続するときに設定します。

PCM ダウンサンプリング変換

接続した機器に合わせて、著作権保護処理のされていないディスクの高音質信号（サンプリング周波数 96 kHz または 88.2 kHz）の出力方法を選びます。

設定	接続機器 (88.2 kHz 以上の 信号への対応)	音声出力
しない ¹	対応している	そのまま 出力
する	対応して いない	48 kHz または 44.1 kHz にダウン して出力

¹ 接続機器が 88.2 kHz 以上の信号に対応していない場合、“しない”に設定すると、88.2 kHz 以上の音声は出力されません。

お知らせ

176.4 kHz 以上の信号や、著作権保護処理がされているディスクの高音質信号は、上記の設定に関係なく、48 kHz または 44.1 kHz にダウンサンプリングして出力されます。

Dolby Digital

Bitstream（工場出荷時）

ドルビーデジタルデコーダー内蔵の機器と接続したとき

PCM

ドルビーデジタルデコーダーを内蔵しない機器と接続したとき

DTS Digital Surround

PCM（工場出荷時）

DTS デコーダーを内蔵しない機器と接続したとき
Bitstream

DTS デコーダー内蔵の機器と接続したとき

デコーダーを内蔵しない機器に接続する場合、必ず“Dolby Digital”と“DTS Digital Surround”を“PCM”に設定してください。

正しく設定しないと雑音が発生し、耳を傷めたり、スピーカーを破損する恐れがあるほか、MDなどに正しく録音できません。

著作権について

ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。

本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。

この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、またマクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。



ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Pro Logic 及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

非公開機密著作物。

著作権 1992 - 1997 年ドルビーラボラトリーズ。不許複製。



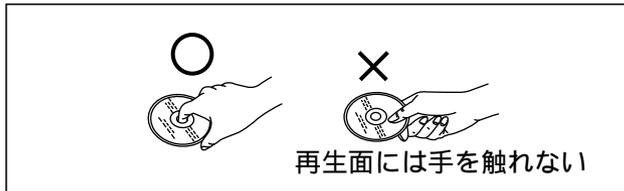
この製品は米国 DTS 社からの実施権に基づき製造されています。合衆国特許 No. 5,451,942、5,956,674、5,974,380、5,978,762。海外特許申請中。「DTS」および「DTS デジタルサラウンド」は DTS 社の登録商標です。

著作権 1996 年、2000 年 DTS 社。不許複製。

使用上のお願い・お手入れ

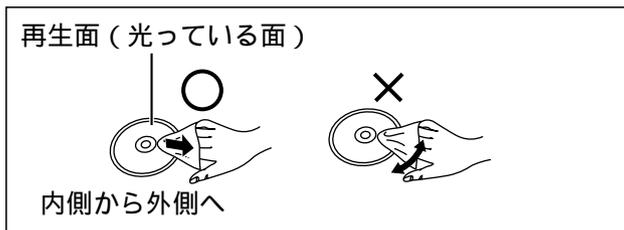
ディスクについて

■ 持ちかた



■ 汚れたときは

DVD オーディオ、DVD ビデオ、ビデオ CD、CD
水を含ませた柔らかい布でふき、あとは空ぶきしてください。



DVD-RAM

必ず専用の DVD-RAM/PD ディスククリーナー
でふいてください。使いかたについては、ディス
ククリーナーの説明書をよくお読みください。
布や CD 用クリーナーなどは絶対に使わないでく
ださい。

■ 露がついたら

急に暖かい室内に持ち込んだときなど、露がついた
場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

DVD-RAM の場合は、布を使わずに専用のクリー
ナーでふいてください。

■ 取扱上のお願い

ディスクそのものの破損の原因となるほか、機器の
故障の原因ともなりますので、次のことをお守りく
ださい。

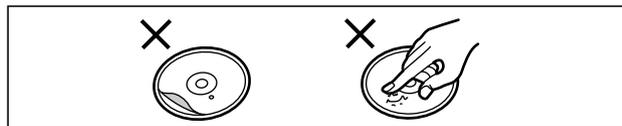
鉛筆やボールペンなどで字を書かない。

レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アル
コールでふかない。

傷つき防止用のプロテクターなどは使わない。

紙やシール、ラベルを貼らない。

シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出して
いるディスクは使わない。



市販のラベルプリンターで表面に印刷したディス
クは使わない。

ディスクの保管

次のような場所は避けてください。

直射日光の当たるところ

湿気やほこりの多いところ

暖房器具の熱が直接当たるところ

お手入れ

柔らかい布でふいてください。

ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませ
た布でふき、後は空ぶきしてください。

アルコールやシンナーは使わないでください。

化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従っ
てください。

お知らせ

使用環境により異なりますが、レンズのクリー
ニングは必要ありません。

誤動作の原因になるため、市販のレンズクリー
ナーは使用しないでください。

用語解説

I/P/B

DVDでは、データを効率よくディスクに収めるため、画面間で共通するデータは共用し、異なるデータは各画面ごとに記録しています。

I-picture : 共用データの基準として単独で記録されるフレーム

P-picture : 過去のI-picture、またはP-pictureを元につくられるフレーム

B-picture : I/P両方を元につくられ、両者の間をうめるフレーム

I-pictureの画質がもっとも良く、画質調節をするときは、I-pictureで静止することをおすすめします。

インターレース出力/プログレッシブ出力

従来の映像信号(NTSC)は525i(i: インターレース=飛び越し走査)といわれるのに対し、その525i信号の倍の走査線数を持つ高密度な映像信号を525p(p: プログレッシブ=順次走査)といいます。

S1映像出力端子

4:3に圧縮されたワイドソフトを自動的に16:9のサイズに戻して映します。



収録されている映像



テレビの画面

テレビのS2映像入力端子とを使用する場合は、本機のS1/S2映像出力端子を使用してください。

S1/S2映像出力端子

S1の機能に加え、レターボックスのソフトを自動的にワイド画面いっぱい映し出します。



収録されている映像



テレビの画面

この端子とテレビのS2映像入力端子を使用する場合、初期設定「映像」の「S端子出力S1/S2のモード」を「S2」に設定してください。

コンポーネント映像出力端子

S映像よりもさらに鮮明な、D1/D2映像と同等の映像を得ることができます。テレビやモニターなどにより入力端子の表示が異なる(Y/P_B/P_R、Y/B-Y/R-Y、Y/C_B/C_Rなど)場合がありますので、そちらの説明書もご覧ください。

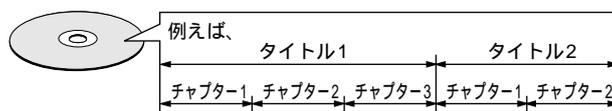
また、本端子はプログレッシブ映像出力(525p)にも対応しているため、525i信号の映像よりも高密度な映像が楽しめます。

サンプリング周波数

サンプリングとは、音の波(アナログ信号)を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化(デジタル信号化)することです。一秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、回数が多いほど原音に近い音を再現できます。

タイトル、チャプター(DVDビデオ)

DVDビデオは、いくつかの大きな区切り(タイトル)と小さな区切り(チャプター)に分けられており、それぞれの区切りの番号を、タイトル番号、チャプター番号と呼びます。



ダイナミックレンジ

機器が出すノイズにうもれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。

チャンネル(ch)

出力される音域や特性によって区別された音声の種類です。例)5.1チャンネル

メインスピーカー [L(1ch)/R(1ch)]

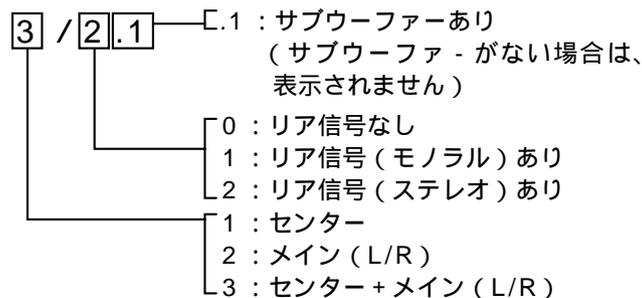
センタースピーカー (1ch)

リアスピーカー [L(1ch)/R(1ch)]

サブウーファー [1ch x 0.1 = 0.1ch]

フル帯域の5.4チャンネルに対し、効果的な場面で低音を増強するために録音されるので、0.1とカウントされません。

GUI画面では以下のように示されます。(Dolby Digital、DTSのとき)



D1/D2映像出力端子

S映像よりもさらに鮮明な、コンポーネント映像と同等の映像を得ることができます。また、本端子はプログレッシブ映像出力(525p)にも対応しているため、525i信号の映像よりも高密度な映像が楽しめます。

ただし、D1映像入力端子だけを持つテレビに接続する場合は、従来方式(インターレース)の映像のみ楽しめます。

D端子ケーブルを使った接続方法のほかに、D端子ピンケーブルを使って、D端子と本機のコンポーネント映像出力端子を接続することも可能です。

デコーダー

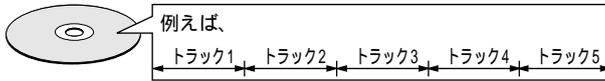
DVDなどに符号化して記録したデータを、音声または映像信号に戻す装置。この処理をデコードといいます。

デジタルシアターシステム DTS (Digital Theater Systems)

多くの映画館で採用されている最大5.1chのサラウンドシステムです。チャンネル間のセパレーションも良く情報量も多いので、リアルな音響効果が得られます。

トラック (DVD オーディオ/ビデオ CD/CD)

DVD オーディオやビデオ CD、CD は、いくつかの区切り (トラック) に分けられており、これらの区切りの番号をトラック番号と呼びます。



ドルビーデジタル

ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮方式です。ステレオ (2 チャンネル) はもちろん、最大 5.1ch の独立したサラウンド音声にも対応しており、大量の音声データを効率よくディスクに収めることができます。

ドルビープロロジック

4 チャンネル信号を 2 チャンネルに記録し、演算処理により、再び 4 チャンネルの独立した信号を再生するサラウンドシステムです。

パン&スキャン/レターボックス

一般的に DVD ビデオは、ワイドテレビ画面 (画面の縦横比は 16 : 9) での再生を想定して作られています。したがって、ワイドテレビでは、記録されたイメージ通りの映像を見ることができます。

このような DVD ビデオの映像を 4 : 3 のテレビ画面に映し出そうとすると、16 : 9 の映像が 4 : 3 の画面に収まらなくなります。この問題を解決するための映像方式がパン&スキャン、あるいはレターボックスと呼ばれるものです。

パン&スキャン

映像の左右をカットして、画面全体に映し出します。



レターボックス

画面の上下に黒い帯を入れて、4 : 3 の画面で 16 : 9 の映像を再現します。



光デジタル音声出力端子

電気信号を光信号に変えてアンプに伝えるので、外部からの電氣的な影響による雑音を防ぐことができます。

ビットストリーム (bitstream)

圧縮され、デジタルに置き換えられた信号です。デコーダーによって 5.1ch などのマルチチャンネル音声にデコード (復号) されます。

フィルム素材 / ビデオ素材

DVD ソフトの映像情報は、以下の 2 通りが一般的です。

フィルム素材

フィルムのイメージが 24 コマ / 秒で記録されているもの。(映画撮影で使われるフィルムには、24 コマ / 秒で画像が記録されています。) 最近では 30 コマ / 秒で記録されたプログレッシブ映像も登場しつつあります。

ビデオ素材

映像情報が 30 コマ / 秒で記録されているもの。

本機は、DVD ソフトに記録された映像情報がフィルム素材かビデオ素材かを判別し、それぞれに最適な方法でプログレッシブ出力に変換します。

フレーム/フィールド

フレームとは、テレビの 1 枚の画面のことです。1 フレームはフィールドと呼ばれる 2 枚の画面からなっています。



フレームスチルのときは、2 枚のフィールドの間でブレを生じることがありますが、画質は良くなります。フィールドスチルのときは、情報量が少ないため画質は少し粗くなりますが、ブレを生じません。

プレイバックコントロール (PBC)

ビデオ CD の再生方式のひとつで、表示されるメニュー画面を見ながら、見たい画面や情報を選ぶことができます。

本書ではこのようなビデオ CD を「PBC 付きビデオ CD」と呼びます。また、メニュー画面を使って再生することを、ビデオ CD の「メニュー再生」と呼びます。

プレイリスト

お好みのシーンを集めたリストです。連続再生したり、特定のシーンだけを再生することができます。

プログラム

DVD-RAM の区切り。本書では「番組」という表現もしています。

ダイレクトナビ

テレビ画面に表示される録画番組の内容一覧 (リスト) から、好みの番組を選んで見ることができます。録画日時、チャンネル、タイトル (タイトル入力したディスクのみ) が表示されます。選んだ番組はリストの背景に動画で再生されるため、簡単に確認できます。

リニア PCM (LPCM)

圧縮せずにデジタル信号に置き換えられた信号です。CD では、44.1 kHz / 16 bit で記録されているのに対し、DVD では 48 kHz / 16 bit ~ 192 kHz / 24 bit で記録されているので、CD よりも高音質の再生が可能です。また、この信号を、情報量を損なうことなく圧縮したものをパケット PCM (P.PCM) といいます。

Q & A (よくあるご質問)

	Q (質問)	A (回答)	参照ページ
接続 / 設置について	ドルビーデジタルや DTS の 5.1ch サラウンド音声を楽しみたいが、どのような機器が必要か	本機にはドルビーデジタル / DTS デコーダーが内蔵されていますので、AV アンプ (5.1ch 音声入力端子付) と 6 本のスピーカーを準備すれば、5.1ch サラウンド音声がお楽しみになれます。	9、10
	スピーカーを直接つなげるか	本機には直接接続できません。AV アンプなどを通して接続してください。	9
	ハイビジョンテレビに接続できるのか	接続できます。より良い映像のために、DVD 対応のコンポーネントビデオ入力端子に接続することをおすすめします。ハイビジョン方式専用のコンポーネントビデオ入力端子には接続しないでください。	11
	S 映像入力端子とコンポーネントビデオ入力端子の両方があるテレビの場合、どちらに接続したらいいのか	コンポーネントビデオ入力端子に接続すると、DVD に記録されたままの状態ですべての信号を出力するため、S 映像入力端子に接続した場合より、さらに忠実に色を再現します。より良い映像のためにはコンポーネントビデオ入力端子に接続することをおすすめします。	11
	D 映像入力端子とコンポーネントビデオ入力端子では、どちらが良いのか	DVD の再生という点では両者の性能に差はありません。	11
	LD と接続できるか	本機には接続できません。	—
	引っ越しても使えるか	東日本、西日本に関係なく使えます。	—
	海外でも使えるか	本機は日本国内専用です。海外では電源電圧などが異なるため使用できません。	—
使いかたについて	海外で買った DVD ビデオは再生できるか	リージョン番号が「ALL」もしくは「2」を含んでいて、映像方式が NTSC であれば再生できます。ディスクのジャケットをご確認ください。	6
	海外で買ったビデオ CD は再生できるか	映像方式が NTSC であれば再生できます。	6
	リージョン番号がないディスクは再生できるか	DVD ビデオ以外のディスクにはリージョン番号はありません。DVD ビデオのリージョン番号は、ディスクが規格に適合していることを表しています。規格を満たしていない DVD ビデオは再生できません。	—
	CD-G は再生できるか	再生できません。	—
	ビデオで録画できるか	ほとんどの DVD オーディオ / ビデオディスクはコピー禁止処理がされており、録画できません。	—
機能について	デジタル録音できるか	192 kHz や 96 kHz の信号はそのままではデジタル録音できませんが、48 kHz に変換することで行えるようになります。ただし、デジタル録音が禁止されているものもあります。	8
	テレビやビデオなどに比べて音が小さいか	DVD の音声は、テレビの音声などに比べて小さな音量で収録されています。	13

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

こんなときは	ここをお確かめください	参照ページ
--------	-------------	-------

電源について

電源が入らない	電源プラグをコンセントへしっかりと差し込んでください。	9
勝手に電源が切れる	停止状態で約30分経過すると、節電のため、電源が自動的にスタンバイ状態になります。(オートスタンバイ) 再度電源を入れ直してください。	13

操作について

各ボタン操作ができない	ディスクによっては、特定の操作を禁止している場合があります。	—
	落雷や静電気などの影響により、本機が正常に動作しないことがあります。電源を「切」「入」してみるか、電源コードをコンセントから抜き差ししてみてください。	—
リモコンが働かない	乾電池は、 \oplus \ominus を確かめて正しく入れ、消耗している場合は、新しいものに交換してください。	7
	リモコン受信部に向けて正しく操作してください。	7
[▶](再生)を押しても、再生が始まらない(または、すぐに停止する)	寒いところから急に暖かいところに持ってきたときなどに、レンズ部に露が付くことがあります。1~2時間放置してください。	—
	本機で再生できるディスクかどうか確認してください。	6
	ディスクが汚れている場合は、きれいにふいてください。	37
	ディスクを正しくセットしてください。	12
音声/字幕言語が切り換えられない	複数の言語が入っていないディスクでは切り換えできません。	—
	音声/字幕切り換え操作では切り換えできないディスクでも、メニュー画面等で切り換えできる場合があります。	13
字幕が出ない	字幕の入っていないDVDでは字幕が表示されません。	—
	字幕が“切”になっている場合は、字幕を“入”にしてください。	25
	A-Bリピート再生のA点、B点や、マーカーでマークを付けた箇所前後では、字幕が表示されないことがあります。	20 21
アングルを変えて見ることができない	複数のアングルが記録されている場面でのみ切り換えることができます。	—
視聴制限で設定した暗証番号を忘れた	以下の操作で初期設定の内容を工場出荷時に戻してください。	—
すべての設定を、工場出荷時に戻したい	1 停止中、本体の[■] (PAUSE) と [◀◀/▶▶] を押しながら、[▲] (OPEN/CLOSE) を押す (テレビ画面の“オールクリア”表示が消えるまで3つのボタンを押し続けます。) 2 本体の電源を一度「切」「入」する	—

故障かな!?(つづき)

こんなときは	ここをお確かめください	参照ページ	
音声について	音が出ない (または音がおかしい)	接続した機器の音量を確認してください。 接続、設定を確認してください。	— 9、10、11、 31、35、36
		接続した機器の入力切替は正しいですか？	—
		音声が出ない場合は、バーチャルサラウンドを「切」にしてください。	24
		アナログ接続で3本以上のスピーカーをつないでいるときは、スピーカーV.S.S./ヘッドホンV.S.S.を「切」にしてください。	24
		アナログ接続をしている場合は、初期設定「音声」の“デジタル出力”を「切」にしてみてください。	31
		動画または画像の入ったDVDオーディオ再生中、本体の[VIDEO OFF]ボタンを押し、音声のみの再生にしてください。	25
		ビデオオフ機能が動作中は、テレビによっては映像が映らなくなるだけでなく、音も出なくなる場合があります。	25
		マルチチャンネルのDVDオーディオディスク再生時に、本体表示窓の“D. MIX”表示が消灯するときは、ディスク側が指定したスピーカー接続でないとき正常に再生できません。ディスクのジャケットなどもご覧ください。	44
		他の機器とデジタル接続しているときは、初期設定で、接続した機器に応じて“Dolby Digital”や“DTS Digital Surround”を正しく設定してください。	36
映像について	早送り/早戻しをしたら画像が乱れる	多少乱れることがありますが、故障ではありません。	—
	ビデオオフを解除したとき一瞬画面が揺れる		
	テレビに映像が映らない (または画面サイズがおかしい)	接続を確認してください。 テレビの電源は入っていますか？ テレビの入力切替は正しいですか？	11 — —
		初期設定「映像」の“TVアスペクト”は正しく設定されていますか？	34
		テレビ側の画面モードを変更してください。	—
		プログレッシブ再生をしている場合、GUIの映像設定“4:3 ASPECT”、“Shift Position”で画面サイズを調整してください。	29
		テレビ画面に“PAL方式のディスクです。音声のみ出力します。”が出ている場合は、PAL方式のDVDオーディオディスクが入っています。(音声のみ再生可能です。)	—
		プログレッシブ入力に対応していないテレビでは、本機のプログレッシブ映像は楽しめません。本機のプログレッシブ出力を「切」にしてください。	12
	プログレッシブ出力(525p)時、映像の一部が二重にぶれて見える	プログレッシブ出力を「切」にしてください。映像ソフトそのものの編集方法や素材の状態に起因する症状ですが、インターレース出力(525i)では問題なく再生できます。	12
	画質がよくない	GUIの映像設定で画質を調節してください。	29
色がおかしい	GUIの映像設定“Output”で設定を確認してください。	29	

こんなときは	ここをお確かめください	参照 ページ
画面メッセージが出ない	初期設定の“画面メッセージ”を「入」にしてください。	31
GUI画面が欠ける(または表示されない)	GUI画面表示中、カーソルボタン[◀、▶]で右端の上下矢印アイコンを選び、[▲、▼]で位置を変えてください。	26
画面に残像が多く残る	または、GUI画面の「ユーザー画質(U1~U4)」で画質を調節してください。	29
表示窓に“ No Play ”と表示する	再生できないディスクが入っています。	6
	番組が記録されていないDVD-RAMディスクが入っています。	—
画面に“ディスクを確認してください”と表示する	ディスクがよごれています。	37
表示窓に“ Error ”が表示される	規格違反のトラックを再生しています。正常に再生できません。	—
表示窓に“ H ”と表示する(は数字)	異常が発生しました。(“H”以降の数字は、本機の状態によって変わります。)電源を一度、「切」「入」してください。	—
表示窓に“ No Disc ”と表示する	ディスクが入っていません。	—
	ディスクが正しく入っていません。	—

処置をされても表示が消えないときは

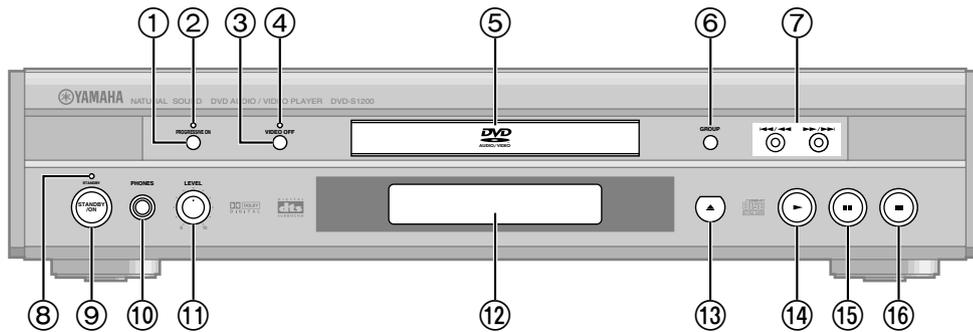
お買い上げの販売店またはお近くのヤマハ電気音響製品サービス拠点(☞47ページ)に修理をご依頼ください。

その場合、画面や表示窓の文字をお知らせください。(例:「H01」)

各部のなまえとはたらき

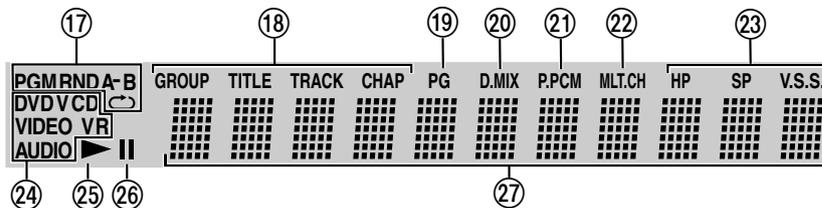
【 】内は参照ページを表しています。

本体



- ① プログレッシブ オン [PROGRESSIVE ON](プログレッシブ出力選択)ボタン【12】
接続するテレビに応じて、プログレッシブ出力(525p)するかインターレース出力(525i)するか選ぶ
- ② プログレッシブ出力ランプ
プログレッシブ出力が選ばれているとき点灯する
- ③ [VIDEO OFF]ボタン【25】
映像信号の出力を停止し、音声信号のみ出力する
- ④ VIDEO OFF ランプ
ビデオオフ機能が働いているとき点灯
- ⑤ ディスクトレイ【12】
- ⑥ グループ [GROUP]ボタン【17】
DVD オーディオのグループを選択する
- ⑦ [左 / 左、右 / 右](スキップ/サーチ)ボタン【14】
映画や音楽を頭出ししたり、早送り/早戻しする
- ⑧ スタンバイ STANDBY ランプ
スタンバイ状態のとき点灯する
- ⑨ スタンバイ オン [STANDBY/ON](電源)ボタン【12】
電源を「入」「切」する
- ⑩ [PHONES]ヘッドホン端子【12】
- ⑪ [LEVEL](ヘッドホンレベル調整)つまみ【12】
ヘッドホンの音量を調節する
- ⑫ 表示窓(下記)
- ⑬ [上](OPEN/CLOSE)(開/閉)ボタン【12】
- ⑭ [右](再生)ボタン【12】
- ⑮ [||](一時停止)ボタン【14】
- ⑯ [■](停止)ボタン【13】

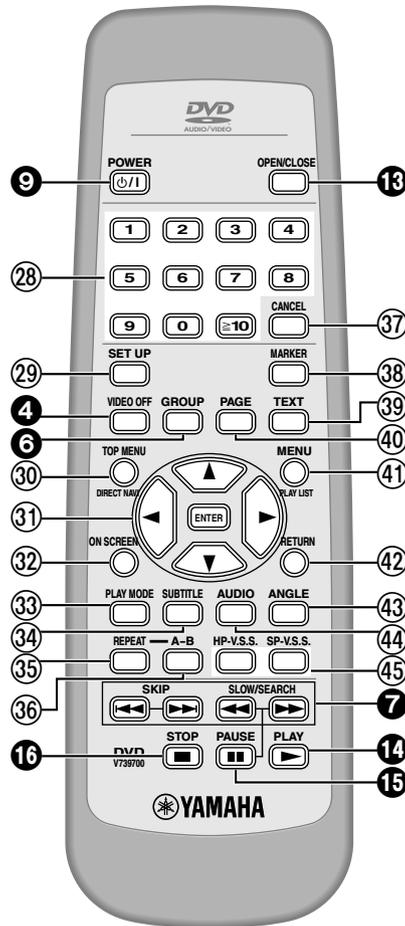
表示窓



- ⑰ 再生状態表示
PGM : プログラム再生 / RND : ランダム再生
↺ : リピート再生 / A-B ↻ : A-B リピート再生
- ⑱ メイン表示部の表示モード
GROUP : グループ表示モード / TITLE : タイトル表示モード
TRACK : トラック表示モード / CHAP : チャプター表示モード
- ⑲ PG 表示
DVD-RAM のダイレクトナビ再生中に点灯
- ⑳ D.MIX (Down Mix)表示
音声信号がダウンミックス(マルチチャンネル信号を2chに集約)可能なとき点灯
- ㉑ P.PCM (Packed PCM)表示
P.PCM 信号が入ると点灯
- ㉒ マルチチャンネル MLT.CH (Multi Channel)表示
マルチチャンネル信号が出力されているとき点灯
- ㉓ バーチャルサラウンド **V.S.S.**表示
HP V.S.S. : ヘッドホン V.S.S.
SP V.S.S. : スピーカー V.S.S.
- ㉔ ディスク表示
DVD VR : DVD-RAM / DVD AUDIO : DVD オーディオ
DVD VIDEO : DVDビデオ / VCD : ビデオ CD
CD : 音楽 CD
- ㉕ 再生表示
再生中に点灯。続き再生メモリー機能が働いているとき点滅
- ㉖ 静止(一時停止)表示
- ㉗ メイン表示部
再生経過時間やトラック番号、各種メッセージなどを表示

リモコン

④や⑥などのボタンは本体の④や⑥のボタンと同じ働きをします。



- ②⑧ 数字ボタン【13】
数字を入力する
- ②⑨ [SET UP]ボタン【30】
初期設定画面を表示する
- ③⑩ [TOP MENU]、[DIRECT NAVI]
ボタン【13、22】
ディスクメニューやダイレクトナビ画面を表示する
- ③⑪ カーソルボタン[▲、▼、◀、▶]/
[ENTER]ボタン【13】
- ③⑫ [ON SCREEN] ボタン【26】
GUI画面を表示する
- ③⑬ [PLAY MODE]ボタン【18】
「通常再生」「オールグループ再生」
「プログラム再生」「ランダム再生」
を切り換える
- ③⑭ [SUBTITLE]ボタン【25】
DVDの字幕言語を切り換える
- ③⑮ [REPEAT]ボタン【21】
繰り返し再生する
- ③⑯ [A-B]ボタン【21】
指定した2点間を繰り返し再生する
- ③⑰ [CANCEL]ボタン【17】
入力した数字を取り消す
- ③⑱ [MARKER]ボタン【20】
見たい(聴きたい)箇所を記憶する
- ③⑲ [TEXT]ボタン【13】
ディスクにテキスト情報が記録さ
れている場合、その情報をテレビ
画面に表示する
- ③⑳ [PAGE]ボタン【15】
DVDオーディオの静止画を選択する
- ④① [MENU]、[PLAY LIST]ボタン
【13、23】
ディスクメニューやプレイリスト
画面を表示する
- ④② [RETURN]ボタン【13】
メニューを一つ手前に戻す
- ④③ [ANGLE]ボタン【25】
マルチアングルが記録されている
DVDで、角度を切り換える
- ④④ [AUDIO]ボタン【25】
DVDの音声言語を切り換える
- ④⑤ [HP-V.S.S.]、[SP-V.S.S.]
(パッチャルサラウンド [V.S.S.])
ボタン【24】
ヘッドホンV.S.S.(HP-V.S.S.)
やスピーカーV.S.S.(SP-
V.S.S.)を「入」「切」したり、
レベルを変えたりする

ご参考

主な仕様

電源	AC 100 V 50 / 60 Hz
消費電力	12 W (電源「スタンバイ」時約 1.5 W)

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

外形寸法	449 (幅) × 281 (奥行) × 99 (高さ) mm 突起物を含まず
質量	約 3.5 kg
許容周囲温度	+5 ~ 35
許容相対湿度	5 ~ 90 % RH (結露なきこと)
再生可能 ディスク 8 cm 12 cm	DVD-RAM (DVD-VR 規格対応のディスク) DVD-Video DVD-Audio 音楽用 CD (CD-DA) ビデオ CD CD-R/RW (CD-DA、ビデオ CD フォーマットのディスク)
信号形式	NTSC
映像出力	出力レベル : 1 Vp-p (75) 出力端子 : ピンジャック 端子数 : 2 系統
S 映像出力	Y 出力レベル : 1 Vp-p (75) C 出力レベル : 0.286 Vp-p (75) 出力端子 : S 端子 端子数 : 2 系統
コンポーネント 映像出力 (525P/525I)	Y 出力レベル : 1 Vp-p (75) P _B /C _B 出力レベル : 0.7 Vp-p (75) P _R /C _R 出力レベル : 0.7 Vp-p (75) 出力端子 : ピンジャック (Y: 緑、P _B /C _B : 青、P _R /C _R : 赤) 端子数 : 1 系統
D1/D2 映像出力	Y 出力レベル : 1 Vp-p (75) P _B /C _B 出力レベル : 0.7 Vp-p (75) P _R /C _R 出力レベル : 0.7 Vp-p (75) 出力端子 : D 端子 端子数 : 1 系統
音声出力	出力レベル : 2 Vrms (1 kHz、0 dB) 出力端子 : ピンジャック 端子数 : 2CH : 1 系統 5.1CH : 1 系統
音声出力特性	周波数特性 DVD (リニア音声) 2 Hz ~ 22 kHz (48 kHz サンプルング) 2 Hz ~ 44 kHz (96 kHz サンプルング) DVD オーディオ 2 Hz ~ 88 kHz (192 kHz サンプルング) CD 2 Hz ~ 20 kHz (EIAJ) S / N 比 CD 115 dB (EIAJ) ダイナミックレンジ DVD (リニア音声) 103 dB CD 99 dB (EIAJ) 全高調波歪率 CD 0.002 % (EIAJ)
デジタル音声 出力	光デジタル出力 : 光コネクター 同軸デジタル出力 : ピンジャック
ヘッドホン出力	ステレオ標準ジャック

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です



音のエチケット
シンボルマーク

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用いただけるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

保証期間

お買上げ日より1年間です。

保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間が過ぎているとき

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

修理料金の仕組み

- 技術料** 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
- 部品代** 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料** 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年(テープデッキは6年)です。この期間は通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買上げ店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお持ちください。

製品の状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。

品番、製造番号はAV製品の背面もしくは底面に表示してあります。

スピーカーの修理

スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エイジングの差による音色の違いが出る場合があります。

摩耗部品の交換について

本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。

本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをお勧めします。

摩耗部品の交換は必ずお買上げ店、またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

摩耗部品の一例

ポリウムコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

ヤマハAV製品の機能や取扱いに関するお問合せは

お客様ご相談センター

TEL (0570) 01 - 1808 (ナビダイヤル)

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHSからは下記番号におかけください。

TEL (053) 460 - 3409

FAX (053) 460 - 2777

住所 〒430-8650

静岡県浜松市中沢町10-1

ご相談受付時間 10:00 ~ 12:00, 13:00 ~ 18:00

(土・日・祝日及び弊社が定めた日は休業とさせていただきますのであらかじめご了承ください。)

ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問合せは

(ヤマハ電気音響製品サービス拠点)

北海道 〒064-8543 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内
TEL (011) 512 - 6108

仙台 〒984-0015 仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F
TEL (022) 236 - 0249

首都圏 〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1番1号
京浜トラックターミナル内14号棟A-5F
TEL (03) 5762 - 2121

浜松 〒435-0016 浜松市和田町200 ヤマハ(株)和田工場内
TEL (053) 465 - 6711

名古屋 〒454-0058 名古屋市中川区玉川町2-1-2
ヤマハ(株)名古屋流通センター3F
TEL (052) 652 - 2230

大阪 〒565-0803 吹田市新芦屋下1-16
ヤマハ(株)千里丘センター内
TEL (06) 6877 - 5262

広島 〒731-0113 広島市安佐南区西原6-14-14
TEL (082) 874 - 3787

四国 〒760-0029 高松市丸亀町8-7
(株)ヤマハミュージック神戸 高松店内
TEL (087) 822 - 3045

九州 〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL (092) 472 - 2134

愛情点検



永年ご使用のAV製品の点検を！

こんな症状はありませんか？

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズか変形がある。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感じる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。



ヤマハ株式会社

〒430-8650 浜松市中沢町10-1

ヤマハオーディオ&ビジュアルホームページ

<http://www.yamaha.co.jp/audio/>

主な仕様

ご参考

ヤマハホットラインサービスネットワーク

47

